

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

2025

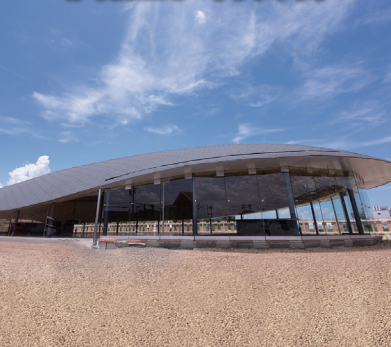
de 愛広場（草津市）



おにゅう峠（高島市）



伊勢遺跡（守山市）



喜楽長（東近江市）



草津宿本陣（草津市）



大風会館（東近江市）



第2なぎさ公園（守山市）



白鬚神社（高島市）



JAPAN
GAMES



ソフトボール競技会

令和7年9月29日🌕から10月1日🌕まで

■主催 公益財団法人日本スポーツ協会 / 文部科学省 / 滋賀県
公益財団法人日本ソフトボール協会 / 東近江市 / 高島市 / 草津市 / 守山市

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

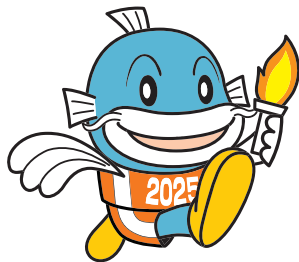
大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

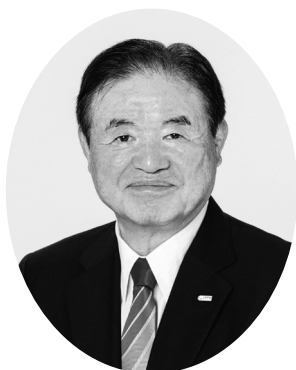
目 次

大会会長 あいさつ	1
文部科学大臣 あいさつ	2
公益財団法人日本ソフトボール協会会長 あいさつ	3
滋賀県知事 歓迎のことば	4
東近江市長 歓迎のことば	5
高島市長 歓迎のことば	6
草津市長 歓迎のことば	7
守山市長 歓迎のことば	8
滋賀県ソフトボール協会会長 歓迎のことば	9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11
大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	20
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	24
協力機関・団体等	25
総則	27
ソフトボール競技 実施要項	46
式典次第	51
競技日程・組合せ表	52
ソフトボール競技の見方	56
都道府県別参加数一覧表	62
選手名簿（成年男子）	63
選手名簿（成年女子）	71
選手名簿（少年男子）	79
選手名簿（少年女子）	87
競技成績採点方法	95
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表	96

年次別成績一覧表	97
得点経過記入表	100
会場配置図（東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド）	102
会場配置図（高島市今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド）	104
会場配置図（草津市立野村運動公園グラウンド）	107
会場配置図（守山市民球場・守山市民運動公園ソフトボール場）	109
会場案内図（東近江市周辺）	112
会場案内図（高島市周辺）	114
会場案内図（草津市周辺）	115
会場案内図（守山市周辺）	117
関係機関電話番号一覧	119



あいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会

会長 えん 遠 どう 藤 とし 利 あき 明

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年6月、14年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていたければ幸いです。

さて、昭和21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年3月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あいさつ



文 部 科 学 大 臣

あ べ とし こ
俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わたSHIGA輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わたSHIGA輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和7年7月31日



あいさつ



公益財団法人日本ソフトボール協会

会長 ^{まし} 島 ^{しま} か れ ん

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025が開催され、第79回国民スポーツ大会ソフトボール競技を、ここ滋賀県東近江市・高島市・草津市・守山市におきまして盛大に実施できますこと、誠に喜ばしく、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

1946年より77年にわたり親しまれた国民体育大会が、スポーツの価値を世界の人々と分かち合い、世界各国と協調していくことを背景に法改正が行われました。昨年のSAGA2024大会より「国民スポーツ大会」となり、今回のわたSHIGA輝く国スポが2回目の大会となります。長い歴史を共に歩んだ「体育」が、更なる価値を創造することで「スポーツ」だからこそ生み出せる、様々な取組が行われていくことが期待されています。今年もこうして開催できることは、多くの方々のお力添えのおかげであり、改めまして厚く御礼申し上げます。

そして、各地区の厳しい予選を勝ち抜かれ、郷土の代表として出場された監督・選手の皆様、ご出場おめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。国民スポーツ大会は、英語で「JAPAN GAMES」と表記しますが、まさに日本最高峰の大会として、全国のトップアスリートがここ滋賀県へ一堂に集う大会です。自らの限界に挑み、それをも楽しみ、更なる飛躍へとつなげていく事が、体育では辿りつけないスポーツの魅力かもしれません。これまで練習を重ねてこられた成果をいかに発揮されますことを願っております。加えて、全国から同じ思いを持つ者同士が集う場です。同志や地元の皆様方と交流の輪を広げていただけると嬉しいです。有意義で思い出に残る大会となりますよう祈念しております。

ソフトボールは全国各地に組織やチームがあり、年齢層も子どもから大人まで幅広く、まさに国民的スポーツです。世界で戦うアスリートから小さい子どもにまで愛されるスポーツとして、より一層競技の裾野を広げながら、ファンを増やしていきたいと思っておりますので、今後とも応援をお願いいたします。

チームの皆様方のみならず、ご来場される方々、大会運営をお手伝いくださる皆様におかれましても、水分補給や休息を十分に取り、体調管理やコンディショニングづくりには十分注意いただきながら、ソフトボールのプレーをお楽しみいただければと存じます。

結びに、日頃からご指導いただいております公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、開催に向けて諸準備を進めてくださいました、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会、並びに東近江市・高島市・草津市・守山市の各実行委員会、多くの関係の皆様方に心より感謝の意を表しまして、ひとこと挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 み か づき たい ぞう
三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばいたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

東近江市実行委員会会長

東近江市長 お小 ぐら棕 まさ正 きよ清

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ソフトボール競技会（成年男子）を東近江市で開催できますことを嬉しく思います。また、全国から来場されます選手・監督をはじめとするチーム関係者の皆様、これから繰り広げられる熱戦を楽しみに御来場いただく観客の皆様に市を代表して心から歓迎の意を表します。

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、鈴鹿の山々から琵琶湖までが一つの市域となった「森・里・川・湖」の多様性のある自然の上に、千年を超える歴史、文化、伝統が息づくまちです。この豊かな自然と地域で育まれた特産品として、「近江米」や「近江牛」などがあり、日本経済の礎を築いた「近江商人」、ろくろ技術を全国に広めた「木地師」の発祥の地として知られています。この機会に東近江市の多彩な魅力に触れていただき、大会終了後にも再び東近江市へお越しいただければ幸いです。

さて、ソフトボール競技は、昭和 56 年第 36 回大会でも当市で開催しており、実に 44 年ぶりに再びあの感動が蘇ってきます。各ブロックの厳しい予選を勝ち上がり、栄えある郷土の代表として本大会に出場される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、観覧する者全てを魅了していただけるものと楽しみにしています。また、全国からお越しになる皆様をはじめ、多くの市民が喜びと感動にあふれる、心に残る大会となるよう準備を進めてまいりました。この大会を通じて観覧される多くの皆様がトップレベルの選手のプレーを肌で感じ、刺激を受けることで競技の普及と次世代選手の育成に繋がることを期待しております。

結びに、今大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の御健闘を心からお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

高島市実行委員会会長

高島市長 ^{いま} 今 ^き 城 ^{かつ} 克 ^{のぶ} 啓

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ソフトボール競技会を、全国から多くの選手・監督をはじめ、大会関係者の皆様を高島市にお迎えし開催できますことは、誠に光栄であり市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

高島市は滋賀県の北西部に位置し、東は琵琶湖、西に森林や里山が広がり、古来より京阪神と北陸を結ぶ交通の要衝として栄え、豊かな森林から流れ出る水は琵琶湖の 3 分の 1 を占める水源を有する地域であります。メタセコイア並木をはじめ全国の百選に 13 カ所選出された風光明媚な自然景観を有し、近江牛や近江米などの特産品の生産をはじめ、発酵食の鮎寿司、日本酒など古来の文化が色濃く残っています。選手ならびに関係者の皆様には、ぜひこの機会に本市の魅力にも触れていただければ幸いに存じます。

さて、いよいよ、昭和 56 年の第 36 回国民体育大会「びわこ国体」以来、44 年ぶりとなる「わた SHIGA 輝く国スポ」が開催されます。本市では、デモンストレーションスポーツの里湖で地域を結ぶウォーキングを皮切りに、ウェイトリフティング、ソフトボール（成年女子）および銃剣道の正式競技に加え、特別競技である高等学校野球（軟式）が行われます。今大会が競技への関心を高め、本市におけるスポーツ振興を図る上でも大変意義深いものとして、今後も地域に根付いていくものとなりますことに大きな期待を寄せております。選手の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、最良の結果がもたらされるとともに、お互いの親睦や交流を深めるすばらしい大会となることを願っております。

結びになりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、選手の皆様のご活躍と本大会の成功を心からご祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

草津市実行委員会会長

草津市長 ^{はし}橋 ^{かわ}川 ^{わたる}渉

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」ソフトボール競技が、ここ草津市で開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、全国各地からお越しの多くの選手や監督、関係者の皆様を心より歓迎申し上げます。

「わた SHIGA 輝く国スポ」は、昭和56年に開催された第36回国民体育大会「びわこ国体」以来、44年ぶり2回目の開催となり、草津市ではソフトボール競技をはじめとする5競技8種目の正式競技を行います。

今回の少年男子の競技会場である草津市立野村運動公園グラウンドは、「びわこ国体」でもソフトボールの競技会場として利用された会場であり、今大会においても44年前と同様に、白熱した戦いを身近で観戦できることを嬉しく思います。

ソフトボールは、7回終了時点で得点の多いチームが勝利するゲームで、コンパクトなフィールドサイズにより、初めて観戦される方でも、迫力のあるスピーディーなプレーとスリリングな展開が楽しめる競技です。

全国から訪れる多くの方々を心のこもったおもてなしで温かくお迎えするとともに、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるよう、市民総参加で準備を進めてまいりました。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮していただくとともに、多くの人に勇気や感動を与え、ソフトボール競技の魅力を伝えていただくことを期待しています。

草津市は、古くから東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として、また交通の要衝として栄えており、当時の面影を残す貴重な史跡である「草津宿本陣」や、一年を通して数多くのスイレンの花を觀賞いただける「水生植物公園みずの森」、草津市の新しい観光スポットとして天井川であった廃川敷地を整備した、一年を通して四季折々の花が咲いている「草津川跡地公園」などにもお立ち寄りいただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

歓迎のこ ば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ

守山市実行委員会会長

守山市長 ^{もり}森 ^{なか}中 ^{たか}高 ^{ふみ}史

第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」のソフトボール競技（少年女子）が、この守山市において、全国各地から選手、監督および大会関係者の皆さまをお迎えし、盛大に開催できることは大変喜ばしく、守山市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本市において、正式競技はサッカー、バレーボール、ソフトボール、軟式野球の 4 競技を実施いたしますが、大会の成功と来場者の皆さまに心を込めた最高のおもてなしをお届けできるよう、これまで市全体で一丸となって準備を進めてまいりました。

本大会が選手の皆様にとって、日頃の練習の成果と、鍛え上げられた力と技を存分に発揮する機会になるとともに、選手同士の交流や絆が生まれ、全ての来場者の皆さまにとって心に残る大会となりますことを願っております。

守山市では、『『誰もが』『どこでも』『いつまでも』レッツスポーツ！～『健康元気なまち』をめざして～』をスローガンとして掲げ、子どもの外遊びの推進や働き世代・子育て世代の運動習慣づくり、高齢者の生きがいづくり等に力を入れております。

また、春は桜、夏はホタル、秋はコスモス、冬は菜の花といった自然環境に恵まれたのどかな田園都市で、かつて中山道の宿場町として栄えた街並みが現在も残っています。特に滋賀県が誇る琵琶湖の眺望が素晴らしく、第 2 なぎさ公園には「琵琶湖サイクリストの聖地碑」や「BIWAKO モニュメント」があり、ナショナルサイクルルートにも指定されている琵琶湖一周サイクリング「ビワイチ」の定番の記念撮影スポットとなっております。他にも自然豊かな公園や農産物直売所「おうみんち」、温浴施設など多数の観光施設がございますので、この機会に是非お立ち寄りください。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたします。



歓迎のことば



滋賀県ソフトボール協会

会長 にし 西 むら 村 たか 高 し 司

わたSHIGA輝く国民スポーツ大会ソフトボール競技会に、近江の国滋賀県高島市・草津市・守山市・東近江市の4市に全国各地のブロック予選を勝ち抜かれたチームの皆様や関係者の方々をお迎えできることは、この上ない喜びであり、大変光栄に思い、心より歓迎いたします。本県での国民スポーツ大会開催は、1981年びわこ国体以来44年ぶりとなり、本県ソフトボール協会関係者をはじめ、滋賀県民が皆様とお出会い出来ることを楽しみにしてまいりました。

ソフトボール競技は、健康の維持・向上に男女を問わず子どもから高齢者まで楽しめる素晴らしいスポーツです。そんなソフトボール愛好者の中でも、本大会に出場される皆様は、特に優れた技術や精神力をお持ちの方ばかりです。選手の皆様には、日頃の練習の成果を思う存分に発揮され、素晴らしい試合が展開されますことを期待申し上げますとともに、大会を通して他県選手との交流を深められ、思い出深い大会になりますことを願っております。

また、将来、各自の技術向上により励まれることはもちろんですが、同時にソフトボール競技の魅力や楽しさを全国各地に伝えていただき、底辺拡大や競技力向上にも取り組んでもらえることを期待しております。

本県のソフトボール競技レベルは、全国的に優れているとは言えない状態ではありますが、この大会で繰り広げられる全国トップアスリートの皆様方のプレーや競技への取り組み姿勢等を脳裏に焼き付け、この大会を大きなきっかけとして、近い将来、全国上位のソフトボール地域に肩を並べられるよう大きく成長することと思います。

結びになりますが、本大会開催にあたりご尽力をいただきました公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本ソフトボール協会をはじめ、多くの方々のご尽力に改めて深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と参加される皆さま方のご健闘をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

- 第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。
- 2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。
- 第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。
- 第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
- (1) 責任をもって保管する。
 - (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
 - (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
 - (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。
- 第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。
- 附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定
昭和45年1月22日一部改定
昭和48年7月10日一部改定
昭和54年5月9日一部改定
平成17年6月16日一部改定
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。
平成30年4月1日一部改定
令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	あ べ 俊 子				
会 長	遠 藤 利 明				
副 会 長	益 子 直 美	田 中 不 二 夫	三 宮 恵 利 子	森 岡 裕 策	
	室 伏 広 治	三 日 月 大 造	河 本 英 典		
顧 問	伊 藤 雅 俊	森 喜 朗	橋 本 聖 子	安 西 孝 之	
	岡 崎 助 一	越 川 均	坂 元 要	勝 田 隆	
	室 伏 由 佳	村 松 さ や か	湯 川 和 之	植 田 実	
	櫻 井 由 香	鹿 島 丈 博	吉 岡 成 子	石 井 砂 織	
	笠 師 久 美 子	飯 塚 悟	久 保 正 美	浦 美 奈 子	
	木 平 芳 定	中 嶋 実	小 寺 洋	桐 木 陽 子	
	旗 生 康 之	池 田 め ぐ み	工 藤 保 子	久 保 直 生	
	藤 田 裕 司	藤 原 誠	室 城 信 之	金 子 日 出 澄	
	貝 瀬 智 洋	森 晃	土 橋 登 志 久	石 丸 元 国	
	多 氣 洋 平	井 崎 洋 志	鬼 頭 有 紀 子	長 谷 川 洋 子	
	吉 田 長 寿	齋 木 尚 子	多 賀 恒 雄	安 藤 淳	
	上 治 丈 太 郎	湧 永 寛 仁	上 原 絵 美	佐 藤 健 司	
	馬 場 美 香	山 口 宏	南 和 文	宮 永 美 寿 津	
	千 田 健 一	中 里 壮 也	岡 本 友 章	大 野 淳	
	加 藤 出	田 村 恒 彦	蒔 田 実	山 崎 勝 洋	
	浅 見 敬 子	山 口 徹 正	田 中 伸 周	村 田 利 衛	
	建 部 彰 弘	市 野 保 己	丸 石 博	中 村 ゆ り 子	
	齋 藤 良 太 郎	谷 田 部 和 彦	木 村 博 美	井 上 弘	
	今 川 啓 一	近 藤 重 和	池 谷 正 成	大 澤 明 美	
	古 城 資 久	小 野 賢 二	園 山 和 夫	中 山 俊 行	
	田 中 徹 文	知 念 か お る	出 口 弘 之	田 邊 哲 人	
	城 門 政 文	前 川 恵	上 杉 晃 央	布 村 幸 彦	
	茂 野 直 久	生 島 典 明	大 沢 陽 子	谷 藤 節 雄	
	熊 谷 幸 一	千 葉 玲 佳	奥 山 雅 信	酒 井 祐 一	
	藤 田 知 巳	北 條 俊 明	田 子 昌 之	新 井 彰	
	山 崎 成 夫	塩 見 清 仁	田 名 部 高 雄	井 出 仁	
	今 西 博 一	中 村 宏 平	松 本 智 広	森 山 喜 博	
	南 部 則 雄	福 永 秀 樹	高 橋 繁 浩	山 本 健 次	
	増 田 和 伯	猪 飼 敏 之	山 本 誠 三	松 本 恭 幸	
	船 田 一 彦	奥 田 晃	横 尾 英 治	小 西 慎 太 郎	



近藤大寺金茂大こ目伊有坂藤砂豊村町番寶鶴福山馳田西宮苅大甲玉	藤中本原菅澤城岡やり片藤森田岡田井田匠田富本口脇崎田塚斐城井狩川井	幸稔武格朗司孝邦毅孝史悟勉子一志治男満男一郎馨司一博浩隆俊泉英男博デ圭辰泰昭	堂馬小岩川宇山赤浅嘉斎村草鈴三三金千永大久荒吉遠岡杉中高林村服麻	本越柳元上津木口松野田藤井野木須屋丸谷野保川藤田谷橋岡部生	ひさ祐勝幸隆妙純敦由アレックス聖大和裕恭玄喜正素裕美祐伸達多加知昭嗣誠益	美希彦成弘子健行子彦地地泰子文室一郎次子生榮司浩治二史男政太郎直	河青辛平佐菊武增有北武北杉宮仲富安中真世丹小北大花高齋丸後山日	村木良藤部子野村浦本間山道村砂耕羽谷野村藤山限	祐章秀朝廣幸一新宏子英英人靖也明二威成樹也士裕世剛章彦純義郎	渡城宮藤奈小野矢上小宮小永深川馬河牧土笹岩達大熊新阿伊池越榎大塩	邊戸成原良林中野寺本棕浜澤合場田島川城増井谷田部藤田宗田石田	浩英康正久和賢一裕和正かれん雅善光拓俊八守歳孝賢康	三敏蔵樹隆美厚彦一郎雄宏清子二弘也人弘英也彦人朗一恭也昌實吾一俊人一人
--------------------------------	-----------------------------------	--	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	-------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	---------------------------	-------------------------------------

参 与

九里学	桑野仁	駒井千代	佐口佳恵
重田剛	柴田栄一	柴田清行	清水鉄次
清水ひとみ	白井幸則	周防清二	菅沼利紀
田中英樹	田中誠明	田中松太郎	谷成隆子
谷口典隆	富波武宏	中川雅史	中沢啓子
中山和行	野田武成人	節木三千代	本田秀樹
村上元庸	木沢成真一	森重重則	東村早苗
岸本織江	土井和之守	窪田三恵也	野村千忠
塚本晃弘彦	森中村曉人	園村達佳	松田吹信
東山光一稔	岡原久美子	中田隆義	伊保田純二
白井雅史	藤池内久晃	正原陽一	北川西裕貴
小林健司	田島中高史	浅見村克啓	小岩永航也
佐藤川涉樹	森浦加代子	竹城国和	角田純司
櫻本直博	西田秀久	今有津堂	寺堤昌弘
堀江久良	藤田善夫	甲藤智昭	野武山本
久保祥二郎	市井義伸	岸金田貴司	武山上西
熊倉正志一	寺村幸太	山川戸良恒	田畑太忠
山本真也	竹井とし宣	三木野智子	市川千恵子
杉圓泰成	石草富大	崎山美智子	
高橋健太郎			
赤井弘浩			
山本史昭	田中秀和	辻睦弘	加藤光国
岩田敬子	稲垣博道	笠野英弘	三ヶ田礼一
菅原哲朗	田崎崇誠	松崎慎大	宇野栄博
山澤利彦	佐橋弘治	田内澤島	山野博
熊谷千晴	加藤和聖	小西村政	佐野博
江橋克憲	安井聖一	吉栗原崇	
青平野了夫	高橋幸洋		若月光史
松本康太郎	福士裕司	品田奥義	細濱野勉
渡邊圭太郎	佐久間裕		

委員長
副委員長
総務委員

委員



寺中鈴田菅渡井吉金政寺南門加太金村杉高松久笠吉高須東井竹寺	澤梶木口原辺本田子岡垣野藤田松浦橋本米井野藤瀬上内崎嘉敷	淳則祐幸雄亘美子裕大介裕樹美人也紀正成行一郎洋司人哲勝巳之	黒安川平高三関杉野坊田池清鈴新高井藤吉松高尾横遠角酒今松荒綾	川藤口井橋井根本口百遥佳直野保澤田本田鷺山藤田井後井木部	重正宏治昇千明好友百遥佳直正克隆宗綾孝一美信真雅元健吉也	男美巖治昇壽子二里花大子敦規暢行司浩子行成和哉司洋彦守治也	舟加岸長鈴中東品小河宇横高瀬岩戒林曾中田辻松山千柄碓沼吉平	喜藤田川南木山野治原高井谷埜田嶋口岡山元葉澤井岡江	信憲剛哲信二三眞恵百弘和尙直由剛純新英度尚雅宏守直公	生二潔之生吾子映広昭紀男史里学史也幸良史也之稔弘彦一	高宮岡西衛山越川富田近沼見大深児稻木前河前濱宮菅竹武田刈黒	野川泉原藤中前口澤口藤波田貫谷玉葉原田口田本城間内田部谷木	修輔茂司輔史司三也紀潤紀輔紀香伸也博史朗宏人晃和巳衛門孝一郎
-------------------------------	------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	小 椋 正 清	今 城 克 啓	橋 川 渉	森 中 高 史
会 長	牧 島 かれん			
副 会 長	宇津木 妙 子	伊 東 秀 仁	宇津木 麗 華	西 村 高 司
	久 保 九二雄	山 本 成 靖	伊 藤 隆 樹	赤 水 新 次
	奥 村 芳 正	岩 城 弘 宜	森 貴 尉	長谷川 倫 人
顧 問	山 崎 拓	三 宅 豊	長 勢 甚 遠	藤 森 友 義
	松 山 正 治	土 江 和 良	久 保 源 治	尾 崎 正 則
	笹 田 嘉 雄	高 橋 清 生	竹 島 正 隆	木 本 由 孝
	沼 澤 憲 三	武 田 平 八	後 藤 勝 則	今 川 雄 策
	佐 藤 清 徳	品 田 尚 孝	和 田 照 男	大 島 英 世
	星 名 建 市	鈴 木 征 久	井之上 哲 夫	有 山 充 剛
	松 山 玲 子	窪 田 包 久	田 畑 裕 明	押 野 稔 明
	吉 田 真 士	福 崎 紀 夫	白 鳥 孝 太	内 海 信 秀
	河 合 満 男	太 田 正 隆	田 坂 幾 博	中 山 泰 道
	藤 本 百 男	疋 田 進 一	二 階 俊 雄	出 西 弘 勉
	福 代 秀 洋	原 憲 一	岸 田 文 治	瀧 川 有 二
	井 川 龍 二	大 野 敬 太 郎	穂 岡 謙 治	山 本 宗 弘
	鬼 木 誠 臣	大 坪 泰 生	尾 野 一 男	小 早 川 正 人
	三 浦 正 彰	押 川 尚 久	中 原 重 信	中 村 浩 一
	西 崎 隆 行	藤 田 善 也	河 越 安 実 治	川 島 長 男
参 与	岩 崎 岑 夫	神 崎 征 治	東 山 直 己	大 崎 悦 典
	西 川 良 夫	村 山 俊 次	河 本 英 昌	奥 村 増 夫
	津 田 茂 宏	西 澤 健 一	森 田 昌 逸	桑 野 仁 之
	小 森 道 聡	川 上 光 男	出 原 新 夫	小 西 信 徹
	吉 川 元 造	川 添 利 雄	竹 内 達 哉	不 破 徳 治
	一 伊 達 統 彦	南 川 喜 代 和	久 田 哲 太 朗	森 田 展 三
	山 本 直 啓 次 郎	前 田 康 重	稲 田 庄 省 之	鈴 村 重 誠
	南 林 茂 松 道	高 木 忠 明 夫	二 橋 口 好 信 人	川 南 田 杉 厚
	大 喜 多 健 吾	高 古 澤 崎 あゆみ	谷 福 平 岩 茂	



森山田市吉和浅澤本仲岡中高海福高松吉地田北福前小長前平川杉伊八井先我南合	野添郷木坂田居持谷田村木東井木里村濃野田川林江吹木上成孫川田	才裕正徹豐藏笑明久彦男亮三郎和子恵子和昭司夫宏一善明宏昇郎人薫士美等宏	治司	小林保大西井辻小西中中泉高西清澤磯清橋井武筧川青本森吉青西中遠服野森田浮	靖雅保由英昌要智儀本村水部本花田島谷田野部村中豊	英則治男均幸巳一郎之一了史次次俊希粹史美裕貴郎章弘之吾守仁雄嗣覺比郎子美歩史	田上竹安田鈴中中石森野福関藤廣藍高高今尾山松伊小横長奥藤西山中田小北三	畑田内田井中村江橋野田井原田部取木西中本原島井瀬野井垣元島中中辻村輪	太宜典高丈則和滋幸信久健克真誠亜拓一浩猛康正直恵和美宏美香詩寿嘉隆	郎和子玄三彦広昭一郎雄次己昭造章隆矢也彦涉明德裕弘久子美和徳治織規英隆	山大廣西青森藤福井堀曾村森是井吉森村饗土西時仲木藤饗西瀬横土福藤辻中高	本洞中田村山嶋口羽山脇永上見孝庭永村田井下森庭田川江肥田本川谷橋	貴共一耕和孝鉄明美み憲道伸佳孝一陽美孝泰眞裕政浩茂明緑敏	志一志康恭司兵男代ゆき司明二徹宙郎大基俊弥晶子宗晃男二剛海則資雄晶宏郎夫
--------------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	----	--------------------------------------	--------------------------	--	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	------------------------------	--------------------------------------

若 吉 浩 二	片 岡 秀 之	河 井 昭 成	原 陽 一
稲 田 優	武 田 正 大	吉 川 彰 治	明 石 芳 夫
宮 崎 千 鶴 子	新 木 真 一	清 水 和 廣	園 田 実 乗
木 原 彰 彦	南 川 千 秋	杉 田 信 一	横 井 和 暢
田 畑 泉	羽 田 賢 一	岸 本 久	角 一 朗
北相模 政 和	荒 川 武 仁	金 森 敏 行	野 村 昌 良
河 合 裕 明	太 田 一 郎	黒 川 克 彦	板 垣 裕 之
山 本 陽 一	一 浦 辰 己	杉 田 貢 一	高 松 弘 泰
奥 山 敏 樹	福 井 教 之	荻 下 則 浩	福 西 弘 充
高 岡 良 秀	奥 谷 美 津 子	菊 池 誠 男	田 中 三 男
武 村 彰 誠	黒 川 孝 治	小 傳 良 輝	馬 場 久 昭
岡 村 敏 誠	西 澤 功 雄	宇 野 治 美	藤 木 猛 夫
高 田 正 司	筈 井 昌 彦	小 牧 一 尚 仁	新 野 富 夫
福 井 寿 美 子	西 村 弘 樹	田 中 均 也	今 江 恒 美 子
藤 原 浩 美	川 本 航 平	田 中 裕 也	松 永 恵 美 子
川 本 佳 子	二 上 勝 友	北 野 郁 雄	上 田 佐 和
梶 本 花 菜 恵	福 田 正 悟	吉 田 藤 安 彦	里 内 緑 擁
高 倉 直 子	福 井 靖 茂	西 武 内 俊 也	高 橋 昌 子
林 龍 史	藤 下 和 行	箬 井 高 敏 彦	沖 林 下 宜 史
池 田 あ づ さ	川 端 和 也	箬 井 高 敏 彦	北 脇 辰 郎
嶋 本 秀 樹	高 橋 井 繁 明	神 宮 上 武 弥 樹	猪 飼 義 重 樹
西 村 和 彦	那 良 裕 士	井 水 野 茂	赤 鷲 飼 重 樹
谷 牧 上 龍 司 郎	大 崎 裕 士		
今 津 覚 章			
岡 本 友 二 樹			
重 森 良 俊 一 章			
野 崎 木 幸 治 子			
鈴 戸 山 徹 裕 郎			
瀬 々 木 幸 治 子			
佐 木 京 子			
倉 俣 知 裕 郎			
上 村 完 十 郎			
佐 子 洋 介			
五 嶋 洋 介			
	加 藤 誠 一 史 義 宏 隆 子 恵 夫 弘 知	木 村 進 範 弘 孝 彦 美 光 一 哉 敬 一 郎	北 川 修 明 広 司 恵 子 則 夫
	新 磯 谷 和 正 優 理 利 泰 知	野 洲 康 祥 義 真 光 一 哉 敬 一 郎	石 井 延 和 圭 理 博 善 節
	神 谷 田 正 優 理 利 泰 知	西 八 杉 本 崎 水 城 口 林	松 谷 佐 山 川 馬
	亀 鈴 岡 鈴 中 前	岩 清 赤 井 小	谷 田 藤 田 村 越

委 員 長
副 委 員 長
委 員



河村修司	高森浩	衣笠岑雄	奥野進
加藤佳子	網千鶴子	嶋本敏明	堀内孝雄
中嶋佐智美	藤澤光汰	中島晋	小傳良寛
遠藤麻美	松村圭	栗田優子	勝馬由起
平田正二	加藤弘明	中田和秀	武孝直子
國松広美	宮下茂久	森康夫	北川照美
北出みつ子	戸知谷俊治	岸田吾一	飯尾正人
矢野廣意	奥村恭弘	岡雅則	打谷桂子

競技役員

(順不同・敬称略)

競技委員長 重 森 勇 二

競技副委員長

(成年男子) 鈴 木 俊 一 加 藤 誠 一 小 林 敬一郎

(成年女子) 瀬戸山 章 澤 本 長 俊 前 田 知

(少年男子) 磯 谷 理 義 小傳良 輝 男

(少年女子) 松 田 和 弘 西 川 良 夫 那 良 明

総務委員長

(成年男子) 久 下 知 宏 上 野 聖 一

(成年女子) 前 田 知

(少年男子) 井 口 直 哉

(少年女子) 持 田 大 輔

総務副委員長

(成年男子) 藤 田 睦 子 磯 部 實

(成年女子) 衣 笠 岑 雄

(少年男子) 関 根 秀 夫 梅 村 すぎ子

(少年女子) 北 川 照 美

総務主任

(成年男子) 富 田 初 代 國 松 重 子 大 橋 理恵子

(成年女子) 田 崎 京 子 世 古 知 子 廣 畑 夕美子 清 水 リ カ

(少年男子) 奥 村 恭 弘 土 肥 浩 資 川 上 建 一 中 出 幸 宏

(少年女子) 西 浦 澄 子 奥 原 景 子

審 判 長 神 谷 和 宏

副 審 判 長 中 田 和 秀

(成年男子) 水 野 直 輝 平 田 正 二

(成年女子) 足袋拔 豊 松 小八木 辰 男

(少年男子) 真 鍋 朗 喜 多 博

(少年女子) 小 牧 司 加 藤 弘 明

審 判 主 任

(成年男子) 久 保 九二雄 杉 田 勝

(成年女子) 石 地 順 一 榛 葉 真理子

(少年男子) 石 本 隆 堀 尾 充 輝

(少年女子) 北 出 みつ子 清 水 美由紀



審判員

(成年男子)	相良浩志 高橋信孝 小串達夫 藤居祐司	米川元章 三栖偉弘 武本健二 北林節郎	鈴木崇司 大橋一広 吉川喜代司 松下隆之	梶浦友浩 鹿野貴史 白子篤
(成年女子)	井口佑太 細木俊輔 落合由美子	平耕二 村上久和 山内智江	土田恵三 酒井誠 志治勝三	舟川菜穂子 中山貴博 金井武峰
(少年男子)	宮脇昭介 塚本竜 大西昭志 山口寿雄	馬場正範 高橋和義 平井俊次	後藤正好 上野眞 西村武徳	伊藤清勝 梅谷佳史 小谷昇
(少年女子)	岩本明 三宅博幸 山田香奈子	千代恭平 佐々木恵子 山崎登	宮木章 山本光多 中西智子	石井貞温 若山さつき 水辰也

記録長

副記録長

(成年男子)	遠藤正人	久郷修平
(成年女子)	五嶋洋介	河村修司
(少年男子)	安東文雄	倉田弘善
(少年女子)	田中都	山根浩明

記録主任

(成年男子)	網千鶴子	奥田健二
(成年女子)	尾松久美子	芝田洋子
(少年男子)	八尾佳代子	飯田俊雄
(少年女子)	本田園子	藤田紀世

記録員

(成年男子)	前田淳子 土橋明子 内田由美 片岡由里子	勝村敏昭 山本紀子 辻井博子	西田秀子 幸野可采 山本真咲	香川幸美 山田佑樹 高橋陽香
(成年女子)	小松嘉則 三好さか江 寺田由起	村瀬佳代子 佐上知子 中村知加子	畑陽子 山中信子 山中茂久	大塚和久 木山きよみ

(少年男子)	北 山 千 代	岩 本 昭 雄	岡 田 ちず子	飯 田 しのぶ
	柴 野 恭 子	川 居 結衣子	内 田 幸 代	田 中 神 優
	木 村 明 美	岡 村 昭 衣	伏 黒 香 苗	森 川 由里子
	奥 田 直 子			

(少年女子)	平井名 敏 子	佐 藤 眞里子	泉 美 起	岡 孝 司
	高 垣 秀 雄	池 田 由紀子	百 崎 真 里	宮 本 邦 江
	井 口 湊 翔	木 村 浩	高 畑 友 美	

球 場 主 任

(成年男子)	西 敦 生	籠 谷 崇 広
(成年女子)	高 森 浩	戸知谷 俊 治
(少年男子)	小傳良 寛	中 出 幸 宏
(少年女子)	中 西 泰 弘	井 本 久 雄

球 場 委 員

(成年男子)	越 智 弘 文	真 野 秀 之	西 村 友 佑	塚 本 良 隆
	若 林 和 男	柴 原 惇 志	永 田 博 之	中 村 宏 和
	菅 谷 文 夫	山 本 佐千夫	木 津 剛	
(成年女子)	澤 清 子	小八木 康 代	吉 田 優 圭	白 子 美 和
	堀 田 美 央	松 本 剛	谷 重 幸	狩 野 由香里
	宮 嶋 あゆみ	大 貫 克 也	山 本 翔 輝	田 中 崇 雄
	辻 本 慎 次			

(少年男子)	藤 元 和 浩	杉 浦 弘 樹	越 智 昭 博	中 村 真 紘
	堤 豊 通	田 淵 信 良	川 嶋 祥 吾	小 島 功
	港 弘 好	小傳良 創	角 田 信 幸	高 木 健 太
	中 野 麻紀子	福 永 正 和	今 井 雄 飛	吉 原 歩
(少年女子)	森 井 富 造	徳 永 文 一	橋 口 薩 雄	小 浦 進
	馬 越 節 夫	奥 野 進	新 野 良 太	園 田 一 朗
	津 田 耕 二	北 脇 正 俊	田 中 順太郎	伊 東 昭
	岸 田 吾 一	小 松 駿 秀	原 田 翔	高 橋 哲 平
	奥 村 淳 二			

放 送 主 任

(成年男子)	山 本 みどり	
(成年女子)	國 松 広 美	
(少年男子)	中 村 由美香	
(少年女子)	北 林 知佳子	森 本 佐知子



放送委員

(成年男子)	中江尚子	染谷由梨	三家菜穂子	田中奈緒美
(成年女子)	石井多美子	森田知恵美	中江春美	
(少年男子)	玉利知子	矢島由佳	中島千佳	摺本志保

深見湖都

(少年女子)	勝馬由紀	石岡愛	小林美穂子	
--------	------	-----	-------	--

練習会場主任

(成年男子)	小倉繁雄			
(成年女子)	前田順平			
(少年男子)	奥村恭弘			
(少年女子)	三宅和夫			

練習会場委員

(成年男子)	澤田喜一郎	永田博之	中村宏和	菅谷文夫
	山本佐千夫			
(成年女子)	谷重幸	狩野由香里	松本剛	
(少年男子)	土肥浩資			
(少年女子)	徳永久	岡本平	田中政章	深山勅善

報道主任

報道委員

式典主任

式典委員

接待委員

総合成績計算委員長

総合成績計算委員

佐子完十郎	馬越節夫	奥野進	
倉田弘善			
関根秀夫	北川照美	前田知	
梅村すぎ子	川上建一	西浦澄子	奥原景子
廣畑夕美子	清水リカ	井口直哉	村瀬聖子
西川良夫	持田大輔		
遠藤正人			
五嶋洋介			

競技補助員

(順不同・敬称略)

協力学校	滋賀学園高等学校	甲西高等学校	八日市南高等学校	北大津高等学校
	幸福の科学学園関西中学校・高等学校	高島高等学校	虎姫高等学校	草津東高等学校
	八幡商業高等学校	国際情報高等学校	大津高等学校	大津商業高等学校
	滋賀短期大学付属高等学校	水口高等学校	比叡山高等学校	石山高等学校

競技会係員

成年男子	わたSHIGA輝く国スポ東近江市実施本部係員
成年女子	わたSHIGA輝く国スポ高島市実施本部係員
少年男子	わたSHIGA輝く国スポ草津市実施本部係員
少年女子	わたSHIGA輝く国スポ守山市実施本部係員

競技会補助員

成年男子	東近江市一般ボランティア
成年女子	高島市一般ボランティア
少年男子	草津市一般ボランティア
少年女子	守山市一般ボランティア 守山市スポーツ推進委員会



協力機関・団体等

(順不同・敬称略)

【成年男子】

協賛企業・団体

株式会社ホンダオートフクナガ	プロ野球 福永裕基選手	プロ野球 茶野篤政選手	一般社団法人 関西ゴルフ連盟
トイボックス	株式会社ニシデン	山 源 製 畳	株式会社ライフテックミツダ
株式会社日吉	株式会社滋賀山下	株式会社チェリオコーポレーション	八 日 市 商 工 会 議 所 チャリティーゴルフコンペ大会
株式会社村田製作所八日市事業所	株式会社寺嶋製作所	中島商事株式会社	株式会社日本技商
株式会社キャリアオン	有限会社かねひょう	湖東信用金庫	東近江ロータリークラブ
小川良株式会社	福田金属箔粉工業株式会社	五個荘能登川ロータリークラブ	八日市南ロータリークラブ
株式会社大橙社	株式会社水研設備	サントリーフローズ株式会社	湖東繊維工業協同組合
能登川ライオンズクラブ	株式会社ツジトミ	株式会社二橋商店	株式会社アプテック
サカモト工房	株式会社マスイ	合同会社ZERO警備	奥 居 匡
株式会社奥田工務店	太 郎 坊 宮	サイクルショップライフ	グリーン近江農業協同組合
滋賀蒲生町農業協同組合	東能登川農業協同組合	湖東農業協同組合	シマノセールス株式会社
株式会社タナベエナジー	一般社団法人がもう夢工房		

応援のぼり旗作成

玉 緒 小 学 校	山 上 小 学 校	能登川西小学校	船 岡 中 学 校
御 園 小 学 校	五個荘小学校	能登川南小学校	永源寺中学校
八日市南小学校	愛東南小学校	能登川北小学校	五個荘中学校
箕 作 小 学 校	愛東北小学校	蒲生東小学校	愛 東 中 学 校
八日市北小学校	湖東第一小学校	蒲生西小学校	湖 東 中 学 校
八日市西小学校	湖東第二小学校	蒲生北小学校	能登川中学校
布 引 小 学 校	湖東第三小学校	玉 園 中 学 校	朝 桜 中 学 校
市 原 小 学 校	能登川東小学校	聖 徳 中 学 校	

花いっぱい運動

玉 緒 小 学 校	布 引 小 学 校	湖東第一小学校	御 園 小 学 校
五個荘小学校	蒲生西小学校	八日市南小学校	愛東南小学校
箕 作 小 学 校	愛東北小学校		

クリーンアップ運動

子育てスタジオPIECE	コムスポ∞ジュニアバドミントン	東近江市スポーツ推進委員協議会	東近江市シルバー人材センター
--------------	-----------------	-----------------	----------------

夢 事 業

レイラック滋賀FC	東近江バイオレッツ
-----------	-----------

ア ン バ サ ダ ー

レイラック滋賀FC	東近江バイオレッツ	小 梶 孝 行
-----------	-----------	---------

イベント協力

世界風博物館東近江大風会館	東近江大風保存会	一般社団法人がもう夢工房	東近江市スポーツ推進委員協議会
東近江市スポーツ協会	八日市高等学校書道部	東近江市スポーツ少年団	

競 技 会 場 ・ 用 具 協 力

京セラ株式会社滋賀東近江工場	滋賀学園高等学校	長 野 県
----------------	----------	-------

協 力 学 校	八日市高等学校 八幡商業高等学校 八幡高等学校	八日市南高等学校 大津高等学校 日野高等学校	能登川高等学校 瀬田工業高等学校 びわこ学院大学	滋賀学園高等学校 八幡工業高等学校
---------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------	----------------------

【成年女子】

協賛企業・団体	滋賀日産自動車株式会社 株式会社プロクリーン 杉橋建設株式会社 株式会社ホリゾン 高島ライオンズクラブ SUPER CENTER PLANT 高島店	清水興業株式会社 大塚製薬㈱京滋北陸支店大津出張所 株式会社中田運送 株式会社桑原組 株式会社大山建設	ソエダ株式会社 農事組合法人マキノ町果樹生産組合 不二電機工業株式会社 高島鋁建株式会社 レーク滋賀農業協同組合	株式会社ヨシダヤ ナカショウ株式会社 有限会社とも栄菓舗 八田建設株式会社 株式会社澤村
---------	---	---	--	--

応援のぼり旗作成	市 内 小 学 校 マキノ東小学校 今津北小学校 青柳小学校 新旭北小学校	マキノ西小学校 朽木東小学校 本庄小学校	マキノ南小学校 朽木西小学校 高島小学校	今津東小学校 安曇小学校 新旭南小学校
----------	---	----------------------------	----------------------------	---------------------------

市 内 中 学 校 マキノ中学校 高島中学校	今津中学校 湖西中学校	朽木中学校	安曇川中学校
------------------------------	----------------	-------	--------

花いっぱい運動	市 内 小 学 校 マキノ東小学校 今津北小学校 青柳小学校 新旭北小学校	マキノ西小学校 朽木東小学校 本庄小学校	マキノ南小学校 朽木西小学校 高島小学校	今津東小学校 安曇小学校 新旭南小学校
---------	---	----------------------------	----------------------------	---------------------------

市 内 中 学 校 今津中学校	朽木中学校	安曇川中学校	高島中学校
--------------------	-------	--------	-------

市内有志の皆様

【少年男子】

応援のぼり旗作成	志津小学校 渋川小学校 玉川小学校 笠縫東小学校 老上中学校 草津高等学校 綾羽高等学校	志津南小学校 矢倉小学校 南笠東小学校 常盤小学校 玉川中学校 草津東高等学校 光泉カトリック高等学校	草津小学校 老上小学校 山田小学校 高穂中学校 新堂中学校 湖南農業高等学校 老上子ども記者クラブ	草津第二小学校 老上西小学校 笠縫小学校 草津中学校 松原中学校 玉川高等学校
----------	--	---	---	--



大会実施要項 総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビクス

(3) デモンストラレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスマルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年 9 月28日（日） ～10月 8 日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年 9 月6日（土） ～ 9 月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年 9 月21日（日） ～ 9 月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年 8 月23日（土） ～ 9 月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストラレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年 4 月12日（土） ～ 9 月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。



5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
 - b 結婚または離婚に係る者
 - c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
- [注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
 - e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
 - f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校



の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2『『一家転住等』に伴う特例措置』の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日



締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

(1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。

(6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

(1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。

(2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。

(2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。



16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ



通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

- (1) 居住地を示す現住所
- (2) 勤務地
- (3) ふるさと

2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。



別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。



別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
 - (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC オリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手
- ※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について



は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して



いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

ソフトボール競技 実施要項

1 期 日 2025 年 9 月 29 日（月）から 10 月 1 日（水）まで（3 日間）

種 別	9 月 29 日（月）	9 月 30 日（火）	10 月 1 日（水）
成年男子	1 回 戦	準々決勝・準決勝	決 勝
成年女子	1 回 戦	準々決勝・準決勝	決 勝
少年男子	1 回 戦	準々決勝・準決勝	決 勝
少年女子	1 回 戦	準々決勝・準決勝	決 勝

2 会 場

東近江市（成年男子）	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（A） 東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（B）
高島市（成年女子）	高島市今津総合運動公園第 1 グラウンド（C） 高島市今津総合運動公園第 2 グラウンド（D）
草津市（少年男子）	草津市立野村運動公園グラウンド（E） 草津市立野村運動公園グラウンド（F）
守山市（少年女子）	守山市民球場（G） 守山市民運動公園ソフトボール場（H）

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	チーム数	小 計	合 計（人）
成年男子	1	12	13	169	715
成年女子	1	13	13	182	
少年男子	1	13	13	182	
少年女子	1	13	13	182	

4 競技上の規程及び方法

- (1) 競技規則は、「2025 年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール」を適用する。ただし、特別事項は、監督会議で決める。
- (2) 試合方法は、トーナメント方式による。ただし、3 位決定戦は行わない。
- (3) 5 回以降 7 点以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。

5 予選方法

- (1) 都道府県大会は、各都道府県において細目を決めて実施し、ブロック大会代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会は、各ブロックにおいて実施し、本大会代表チームを決定する。実施要項は、そのブロック内で協議のうえ作成する。
- (3) 各ブロック代表の理事は、ブロック大会終了後、直ちにブロック大会参加チーム名及び成績を公益財団法人日本ソフトボール協会宛に報告すること。



(4) ブロック大会区分及び各種別の代表チーム数は、次の表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	成年 女子	少年 男子	少年 女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	1	1
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	1	1	1
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1	1
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1	1	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	1	1
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1	1
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	1	2	2	2
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		13	13	13	13

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 監督が選手を兼ねるときは、選手登録をしなければならない。
- (2) 本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトボールコーチ 1、公認ソフトボールコーチ 2、公認ソフトボールコーチ 3、公認ソフトボールコーチ 4 のいずれかの有資格者でなければならない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも 1 位 64 点、2 位 56 点、3 位（2 チーム）各 44 点、5 位（4 チーム）各 20 点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位（4チーム）までに賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年9月4日（木）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害、転勤等の特別な場合のみ認めるものとし、その取扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期日 監督会議前日まで

イ 提出先

- (ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F
公益財団法人日本ソフトボール協会
TEL 03-5843-0480 FAX 03-5843-0485
メールアドレス jsaoffice@softball.or.jp

- (イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
（滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係）
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
メールアドレス kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

- (ウ) （成年男子）
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会事務局
（東近江市文化スポーツ部国スポ・障スポ競技課）
TEL 0748-24-5675 FAX 0748-24-5667
メールアドレス softball@city.higashiomi.lg.jp

- (エ) （成年女子）
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会事務局
（高島市教育委員会事務局国スポ・障スポ大会推進課）
TEL 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539
メールアドレス sb-kokusupo2025@city.takashima.lg.jp

- (オ) （少年男子）
〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局
（草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室）



TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181

メールアドレス softball2025@city.kusatsu.lg.jp

(カ) (少年女子)

〒524-0021 滋賀県守山市吉身二丁目5番22号

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会事務局
(守山市総合政策部スポーツ振興課)

TEL 077-582-1169 FAX 077-582-0539

メールアドレス kokusupo-softball@city.moriyama.lg.jp

ウ 提出方法 交代届を記載、押印後、PDF データをメール送信

エ 特記事項 診断書は不要とする。選手変更の場合、交代者記載内容「その他の必要事項」欄にユニフォームナンバーを記載すること。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) ユニフォームナンバーは1～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番とし、背番号の大きさは、15cm以上で統一されたものであること。また、ユニフォーム上衣の胸下に背番号と同番号を付けること。大きさは、6cm以上12cm以内とする。
- (2) 競技に際しては、都道府県名のみを明記したユニフォームを着用しなければならない。
- (3) チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。
- (4) 監督会議の出席に際しては、競技用ユニフォームを着用すること。
- (5) 会場地において配宿する人員は、エントリー数以外は認めない。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年9月7日(日) 午後1時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
TEL 03-5843-0480 FAX 03-5843-0485

(2) 監督会議

(成年男子)

日 時 2025年9月28日(日) 午後2時

場 所 東近江市役所 東庁舎東D会議室
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号
TEL 0748-24-5675 FAX 0748-24-5667

(成年女子)

日 時 2025年9月28日(日) 午後2時

場 所 高島市役所 新館3階会議室10・11・12
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地
TEL 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539

(少年男子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 2 時
場 所 草津市役所 8 階大会議室
〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号
TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181

(少年女子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 2 時
場 所 守山市民ホール 学習室 1
〒524-0051 滋賀県守山市三宅町 125 番地
TEL 077-582-1169 FAX 077-582-0539

(3) 審判・記録員会議

(成年男子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 3 時
場 所 東近江市役所 東庁舎東 D 会議室・東 E 会議室
〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号
TEL 0748-24-5675 FAX 0748-24-5667

(成年女子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 3 時
場 所 高島市役所 新館 3 階会議室 9・10
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地
TEL 0740-25-8567 FAX 0740-25-8539

(少年男子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 3 時
場 所 草津市役所 8 階大会議室・2 階特大会議室
〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号
TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181

(少年女子)

日 時 2025 年 9 月 28 日 (日) 午後 3 時
場 所 守山市民ホール 会議室・学習室 3
〒524-0051 滋賀県守山市三宅町 125 番地
TEL 077-582-1169 FAX 077-582-0539

(4) 表彰式

決勝、準決勝、準々決勝終了後、直ちに当該グラウンドで行う。



式典次第

【第5位表彰式】

日時 2025年9月30日（火）

準々決勝終了後

会場 各球場

順序	内容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状
4	閉式通告
5	選手退場

【第3位表彰式】

日時 2025年9月30日（火）

準決勝終了後

会場 各球場

順序	内容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状・メダル・副賞授与
4	閉式通告
5	選手退場

【種別表彰式】

日時 2025年10月1日（水）

決勝戦終了後

会場 各球場

順序	内容
1	選手整列
2	開式通告
3	成績発表
4	賞状・メダル・副賞授与
5	競技会会長あいさつ
6	歓送のことば
7	競技会終了宣言
8	閉式通告
9	選手退場

【総合表彰式】

日時 2025年10月1日（水）

種別表彰式終了後

会場 高島市今津総合運動公園第1グラウンド（C球場）

順序	内容
1	選手整列
2	開式通告
3	成績発表
4	賞状授与
5	大会会長トロフィー授与
6	競技会終了宣言
7	閉式通告
8	選手退場

ソフトボール競技

東近江市・高島市
草津市・守山市

競技日程

監 督 会 議	9月28日（日） 14時00分	（成年男子） 東近江市役所東庁舎東D会議室
		（成年女子） 高島市役所新館 3階会議室10・11・12
		（少年男子） 草津市役所 8階大会議室
		（少年女子） 守山市民ホール学習室 1
審 判 ・ 記 録 員 会 議	9月28日（日） 15時00分	（成年男子） 東近江市役所東庁舎東D会議室・東E会議室
		（成年女子） 高島市役所新館 3階会議室 9・10
		（少年男子） 草津市役所 8階大会議室・2階特大会議室
		（少年女子） 守山市民ホール会議室・学習室 3

			9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）
東近江市	成年男子	A	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 第3試合 13：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決 勝 10：00～
			東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
高島市	成年女子	C	高島市今津総合運動公園第1グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 第3試合 13：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決 勝 10：00～
			高島市今津総合運動公園第2グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
草津市	少年男子	E	草津市立野村運動公園グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 第3試合 13：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決 勝 10：00～
			草津市立野村運動公園グラウンド		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
守山市	少年女子	G	守山市民球場		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 第3試合 13：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決 勝 10：00～
			守山市民運動公園ソフトボール場		
			1回戦 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～	準々決勝 第1試合 9：30～ 第2試合 11：30～ 準決勝 13：30～	



5 位 表 彰 式	9 月 30 日（火） 準々決勝終了後	成年男子	A：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド B：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	C：高島市今津総合運動公園第 1 グラウンド D：高島市今津総合運動公園第 2 グラウンド
		少年男子	E：草津市立野村運動公園グラウンド F：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	G：守山市民球場 H：守山市民運動公園ソフトボール場
3 位 表 彰 式	9 月 30 日（火） 準決勝終了後	成年男子	A：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド B：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	C：高島市今津総合運動公園第 1 グラウンド D：高島市今津総合運動公園第 2 グラウンド
		少年男子	E：草津市立野村運動公園グラウンド F：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	G：守山市民球場 H：守山市民運動公園ソフトボール場
種 別 表 彰 式	10 月 1 日（水） 決勝終了後	成年男子	A：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	C：高島市今津総合運動公園第 1 グラウンド
		少年男子	E：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	G：守山市民球場
総 合 表 彰 式	10 月 1 日（水） 種別表彰式終了後		C：高島市今津総合運動公園第 1 グラウンド

ソフトボール競技 組合せ表

【成年男子】

A：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド

B：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド

都道府県名		日程		9月29日(月)		9月30日(火)		10月1日(水)		9月30日(火)		9月29日(月)		日程		都道府県名	
		1回戦		準々決勝		準決勝		決勝		準決勝		準々決勝		1回戦			
岩手県 1		A-1 9:30		B-3 13:30		A-1 10:00		A-3 13:30		A-2 11:30		B-1 9:30		8 石川県			
福島県 2														9 岡山県			
北海道 3														10 栃木県			
滋賀県 4		A-2 11:30		B-1 9:30		A-1 10:00		A-3 13:30		A-2 11:30		B-1 9:30		11 三重県			
埼玉県 5														12 福井県			
愛媛県 6		A-3 13:30		B-2 11:30		A-1 10:00		A-3 13:30		A-2 11:30		B-1 9:30		13 大阪府			
宮崎県 7														14 奈良県			

【成年女子】

C：高島市今津総合運動公園第1グラウンド

D：高島市今津総合運動公園第2グラウンド

日程		9月29日(月)		9月30日(火)		10月1日(水)		9月30日(火)		9月29日(月)		日程					
都道府県名		1回戦		準々決勝		準決勝		決勝		準決勝		準々決勝		1回戦		都道府県名	
岐 阜 県		1		C-1 9:30		D-3 13:30		C-1 10:00		C-3 13:30		C-2 11:30		8		大 分 県	
鹿 児 島 県		2												9		京 都 府	
滋 賀 県		3												10		栃 木 県	
群 馬 県		4		C-2 11:30		D-1 9:30		C-1 10:00		C-3 13:30		C-2 11:30		11		愛 媛 県	
福 井 県		5												12		青 森 県	
宮 城 県		6		C-3 13:30		D-2 11:30		C-1 10:00		C-3 13:30		C-2 11:30		13		鳥 取 県	
北 海 道		7												14		山 形 県	



ソフトボール競技 組合せ表

【少年男子】

E：草津市立野村運動公園グラウンド

F：草津市立野村運動公園グラウンド

都道府県名	日程	9月29日(月)	9月30日(火)		10月1日(水)	9月30日(火)		9月29日(月)	都道府県名
		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	
福井県	1								8 愛媛県
長崎県	2		E-1 9:30				E-2 11:30		9 愛知県
大阪府	3	E-1 9:30						F-1 9:30	10 広島県
群馬県	4			F-3 13:30	E-1 10:00	E-3 13:30			11 神奈川県
兵庫県	5	E-2 11:30						F-2 11:30	12 福島県
滋賀県	6		F-1 9:30				F-2 11:30		13 北海道
鹿児島県	7	E-3 13:30							

【少年女子】

G：守山市民球場

H：守山市民運動公園ソフトボール場

都道府県名	日程	9月29日(月)	9月30日(火)		10月1日(水)	9月30日(火)		9月29日(月)	都道府県名
		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	
滋賀県	1								8 長崎県
北海道	2		G-1 9:30				G-2 11:30		9 福井県
香川県	3	G-1 9:30						H-1 9:30	10 鹿児島県
岐阜県	4			H-3 13:30	G-1 10:00	G-3 13:30			11 群馬県
兵庫県	5	G-2 11:30						H-2 11:30	12 山梨県
鳥取県	6		H-1 9:30				H-2 11:30		13 京都府
岩手県	7	G-3 13:30							

ソフトボール競技の見方

1. ソフトボール競技の歴史

ソフトボールは、1900年頃アメリカで「インドア・ベースボール」として始められたとされています。日本では1921年東京高等師範学校教授『大谷武一』氏によって紹介されたことに始まるとされており、当時は「インドア・ベースボール」「プレイグラウンドボール」と呼ばれていました。

その後、アメリカ駐留軍がソフトボールを全国各所で展開したことから、1945年に日本軟式野球連盟にソフトボール部が併置されました（普及は進みませんでした）。当時、武道を禁じられていた日本は、青少年の健康と明朗な精神を取り戻すため、文部省で協議した内容に、岩野次郎（当時文部省体育官。後の日本協会副会長）、栗本義彦（当時文部省体育官。後の日本協会副会長及び日本体育大学学長）の提案が加わり、ソフトボールの普及が強調されるようになりました。

1946年には日本で初めてのソフトボールの大会が開催され、その翌年の第2回石川国体では高校硬式野球の準決勝、決勝の間に女子ソフトボールの試合が非公式のオープンゲームとして行われました。

1949年には、日本軟式野球連盟から分離独立する形で日本ソフトボール協会が創立されました。また、同年に日本体育協会に加盟したことを契機に、第1回全日本高等学校女子選手権大会と第1回一般女子選手権大会が開催されました。この年に公式ソフトボール規則が発行されています。

1950年の第5回愛知国体から高校女子、一般女子が正式競技となり、翌年の1951年に国際ソフトボール連盟（ISF）が設立し、日本も加盟しました。そして、1955年に第1回全日本一般男子選手権が開催され、1957年の第12回静岡国体から一般男子も正式競技になりました。更に1966年には、第1回高等学校男子選手権、第1回大学男女選手権大会が開催され、1975年の第30回三重国体から、少年男子も正式競技に追加されました。

国際大会としては、1965年に第1回世界女子選手権大会（オーストラリア）が開催され、日本は第3位に。1966年には、第1回世界男子選手権大会（メキシコ）が開催され、日本は6位になりました。1970年の第2回世界女子選手権大会は日本で開催され、日本チームは見事優勝、その後しばらくはアメリカの後塵を拝していたが、2012年の第13回世界女子選手権大会（カナダ）、2014年の第14回世界女子選手権大会（オランダ）で王座奪還、その後もアメリカとは紙一重の戦いを行い、昨年2024年の第17回 WBSC 女子ワールドカップ（改称）で再び王座を奪還しました。男子も、2000年に南アフリカで開催された第10回世界男子選手権大会において、準優勝、また2019年の第16回男子ワールドカップでも準優勝を果たしており、ジュニア世代でも数度世界一の座を獲得し、世界の強豪国として認識されています。

1996年アトランタオリンピックから女子ソフトボールが正式競技となり、2008年北京オリンピックでは宿敵のアメリカを倒し悲願の金メダルに輝きました。2012年ロンドンオリンピック以降は正式競技から除外されましたが、オリンピック正式競技への復帰に向け、WBSC（世界野球ソフトボール連盟）を設立しました。その後、「野球・ソフトボール2020年復帰を！」をスローガンに取り組んだ結果、2020年東京オリンピックでは（開催都市が追加できる）正式競技として復活を果たしました。コロナ禍により2021年に延期し、無観客で開催された東京大会



での決勝では、再度アメリカと対戦し、手に汗握る激闘を制した日本が金メダルを獲得してオリンピック二連覇を達成しています。2024年パリオリンピックでは再び実施種目から外れましたが、2028年ロサンゼルスオリンピックでは再び実施競技に選ばれており、オリンピック三連覇を目指しています。

2. オフィシャルソフトボールルール

(1) 競技場

① 本塁から外野フェンスまでの距離

成年女子が67.06m以上、成年男子が76.20m以上。少年女子が60.96m以上、少年男子が68.58m以上で実施しています。

② 投・捕間の距離（投手板から本塁までの距離）

男子が14.02m、女子が13.11m。

投手板には半径2.44mのピッチャーズサークルがあり、平坦でマウンドはありません。

③ 塁間の距離

18.29m。一塁には危険防止のためダブルベースが使用されています。

(2) 用具

① バット

長さは86.36cm以内で、重さは1080g以内、太い部分の直径は5.72cm。グリップには安全のため、グリップエンドから25.4cmから38.1cmの範囲で滑り止めのテープを巻くことがルールで定められています。

材質は、木材・金属・プラスチック・グラファイト・カーボン・ガラス繊維・セラミック・チタン合金あるいは複合材料でつくられたもので、1号から3号のバットがありボールの規格と同じものを使用しなければなりません。

② ボール

ボールの大きさ（円周）は、3号球で30.48cm。誤差範囲は±0.32cmとされています。

ボールの重さは、3号球の革ボールで187.82g。誤差範囲は±10.63gとされています。日本では、高校生以下は白色のゴムボールを使用しており、3号球のゴムボールの重さは190g±5gです。ゴムボールには1号球から3号球までがあります。

③ グラブ・ミット

グラブは全ての選手が使用可能ですが、ミットは捕手と一塁手に限定されています。色は紐を含めて多色でもかまいませんが、投手のグラブのみボールとの同色は禁止されています。

④ 靴（シューズ）

靴はすべてのプレーヤーが使用しなければなりません。

⑤ マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット

捕手は、安全のためスロートガード付きマスク及び捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、レガースを着用しなければなりません。

打者、打者走者、走者、次打者は、安全のため両耳当てのあるヘルメットを着用しなければ

ばなりません。また、プレー進行中意図的にヘルメットを脱ぐとアウトになります。

⑥ ダブルベース

ソフトボールは塁間が短いため（18.29m）、一塁でのクロスプレーが多く、守備者と打者走者の衝突により大ケガをすることなどもありました。そのため、1987年のISF（国際ソフトボール連盟）ルール委員会において、接触プレーによる事故防止を目的として、一塁に「セーフティーベース」の名称で、ダブルベースを置くルールがカナダから提案され、可決されました。

1994年の第8回世界女子ソフトボール選手権大会から使用され、1997年からJSA（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールにも採用され、現在に至っています。

このダブルベースは、38.1cm×76.2cmの大きさで、白色の部分（白色ベース）をフェア地域に、オレンジ色の部分（オレンジベース）をファウル地域に固定します。

打者が内野ゴロを打ったり、一塁でプレーが行われるときは、打者走者は原則としてオレンジベースを走り抜け、守備者は白色ベースを使用することによって、一塁での打者走者と守備者の接触する危険を回避することができます（ヒットを打って一塁をオーバーランしたり、長打を狙って一塁を回るときや一旦走者となって一塁ベースに帰塁するときは、白色ベースのみを使用します）。

（3） 投手の投球方法

打者に対して下手投げで、手と手首が体側線を通しながら球を離さなければなりません。代表的な投球方法として次のようなものがあります。

● ウインドミルモーション

ウインドミルはもっともポピュラーな投げ方で、風車のように腕を大きく1回転させ、その遠心力を利用して投げるため、大きなスピードを得ることができます。腕の回転は1回に制限されています。

国際的なトップレベルの投手は、女子が105～110km/h、男子が110～130km/hを超えるスピードボールを投げ、野球に置き換えると150km/hを超えるスピードを体感するといわれています。

● スリングショットモーション

スリングショットはソフトボールの原点とも言える投げ方であり、時計の振り子のように腕を後方に振り上げた後、前方に振り戻して投げる投法です。現在ではほとんど見られなくなりました。

（4） 走者の離塁制限

各走者は、ボールが投手の手を離れるまで塁を離れることはできません。もし塁を離れるとその走者にはアウトが宣告されます。

このため、投手の投球モーションを盗んで盗塁をすることはできず、投手が投げた後に盗塁することは、バッテリーにミスがない限りなかなか成功しません。ただし、野球と比べ、バントが多用されるため、一塁手と三塁手がベースより前に位置するような前進守備をすることが多く、三塁への盗塁を狙うケースが多く見受けられます。

（5） プレーヤーの交代等

① 選手交代



プレーヤーは1チーム9名か、指名選手（D P）制を採用した場合は10名の編成となります。プレーヤーの人数がそのチームの編成人員を欠いた場合は没収試合となります。

② 打ち合わせ

監督またはコーチが、投手や打者、走者と打ち合わせを行うときは、「タイム」を要求してから行わなければなりません。この打ち合わせは、攻撃のときは1イニングに1回しか行うことができません。再度行くと監督は退場となります（ただし高校生以下の試合には適用されません）。守備のときには、1回から7回までの間に3回行うことができます。8回以降は1イニングに1回行うことができます。これに違反した場合は、投手が交代しなければなりません。また、交代した投手はこの試合で投げることはできません。

③ 再出場（リエントリー）

ソフトボールでは、1979年のISF（国際ソフトボール連盟）ルール改正で、「リエントリー（再出場）」が採用され、スターティングプレーヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場することが認められました。

再出場する場合には、自己の元の打順を引き継いだプレーヤーと交代しなければならず、それに違反し、相手チームからアピールがあると、「再出場違反」となり、違反した選手と監督が退場となります。

JSA（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールには、1980年に採用され、現在に至っています。

④ DP（指名選手・DESIGNATED PLAYER）

1979年ISF（国際ソフトボール連盟）ルールに、DH（DESIGNATED HITTER／指名打者。打撃専門で守備につかないプレーヤーのこと。DHにより、守備専門のプレーヤーとなったものは打撃を行うことはできず、また、DHはスターティングプレーヤーであってもリエントリー（再出場）は認められていませんでした）が採用され、JSA（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールにも1980年から採用されました。

その後、2002年のISFルール改正で、DHは、DP（DESIGNATED PLAYER／指名選手）に改められ、打撃専門だけではなく、守備につくこともできるようになりました。

DPを採用する場合には、その人数は常時1名に限られ、試合開始から終了まで継続しなければなりません。また、DPはどの守備者（DPによる守備専門のプレーヤーは、FP（FLEX PLAYER）という）につけてもかまいませんが、その試合中は同じ打順を継続し、DPを採用した場合には10人で試合を行うことになります。

DPもFPも、いつでも他の控え選手と交代できる点では他のプレーヤーと何ら変わるころはなく、出血を伴う負傷の場合に代替プレーヤーを使うことができる点も何ら変わりはありません。また、DPもFPもスターティングプレーヤーであれば、一度に限りリエントリーすることができ、「攻撃だけ」「守備だけ」に限定されることもありません。

DPは、基本的には攻撃を重視して起用されるプレーヤーですが、FPの守備を兼ねることも可能です。この場合には、DPが打撃・守備ともに行うことになり、試合に出場しているプレーヤーは10人から9人になります（DPがFPの守備を兼ね、攻撃・守備共に行う場合には、FPは一旦試合から退いたことになります）。

逆に、F PがD Pの打順に入って打撃を行うことも可能で（D Pが塁上にいる場合にF PがD Pに代わって走者となることも可能）、この場合にはF Pが打撃・守備ともに行うことになり、D Pがリエントリーしない限り、試合に出場しているプレーヤーは10人から9人になります（F PがD Pの打撃を兼ね、攻撃・守備ともに行う場合には、D Pは一旦試合から退いたことになります）。

ただし、D PとF Pが完全に入れ替わり、D Pが守備のみ、F Pが攻撃のみを行うことは認められないため、これに違反するとD P違反（不正交代）となります。

さらにD PがF P以外のプレーヤーの守備を兼ねた場合には、その守備者はO P O（OFFENSIVE PLAYER ONLY／打撃専門選手）となり、打撃のみを行うことになります。

D Pルールを正しく理解し、活用することができれば、戦術的な選択肢が増えるだけでなく、少人数編成のチームでもその限られた人員をフルに活用することができるというメリットがあります。

（6）ゲーム全般

攻守の決定は、コイントスにより行われます。ソフトボールの正式な試合は7イニングで行われ、日没、降雨その他で中止となった場合は、5イニング以上の均等回が完了していれば試合が成立となります。また、7回終了時同点の場合は、8回からタイブレークにより試合を継続します。

「タイブレーク」は、ノーアウト走者2塁を設定して、攻撃を継続します。打者は前の回から引き継ぐものとし、二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者となります。裏の回も同様に行われ勝敗がつくまで行われます。

3. ゲームの見所

● スピードボールと多彩な変化球を織り交ぜたピッチング

変化球は、カーブやシュート、ドロップ、打者付近で浮き上がるライズボール、そして緩急を活かしたチェンジアップなどがあります。男子はダイナミックなフォームから繰り出されるスピードボール、女子は磨き抜かれたコントロールと緩急自在のピッチングが見ものです。

● 観察力と判断力がカギとなる“駆け引き”

短い投球距離でのスピードボールと鋭い変化球を打ち返すのには高度な技術を要します。打つ以外にもグラウンドの狭さを活かした「セーフティバント」や、走りながら打って内野安打を狙う「スラップ」などを駆使して、守備者との駆け引きをしていきます。守備者もバッターの動きを常に観察し、守備位置を調整することが必要です。バッターとバッテリーの駆け引きだけではなく、バッターと守備者との駆け引きにも注目すると違った面白みが出てくると思います。

● 勝敗を左右する采配

D PやF P、リエントリーといったソフトボール独自のルールにより、戦術の幅はかなり広がります。どのタイミングで交代カードをきるのか、監督の采配にも注目です。



このように、使う用具や大まかなルールは野球に似ていますが、似て非なるソフトボールのスピード感と緻密さが面白さとなっています。

国民スポーツ大会ソフトボール競技会には、全国各ブロックを勝ち抜いた13チームが出場します。日本のトップレベルの選手達が繰り広げる、スピード感と迫力のあるゲームをお楽しみください。

都道府県別参加数一覧表

		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計
1	北海道	13	14	10	14	51	25	滋賀県	13	14	14	14	55
2	青森県		13			13	26	京都府		14		14	28
3	岩手県	13			14	27	27	大阪府	13		14		27
4	宮城県		14			14	28	兵庫県			14	14	28
5	秋田県					0	29	奈良県					0
6	山形県					0	30	和歌山県					0
7	福島県	13		14		27	31	鳥取県		14		14	28
8	茨城県					0	32	島根県					0
9	栃木県	13	14			27	33	岡山県	13				13
10	群馬県		14	14	14	42	34	広島県			14		14
11	埼玉県	13				13	35	山口県					0
12	千葉県					0	36	香川県				14	14
13	東京都					0	37	徳島県					0
14	神奈川県			14		14	38	愛媛県	13	14	14		41
15	山梨県				14	14	39	高知県					0
16	新潟県					0	40	福岡県					0
17	長野県					0	41	佐賀県					0
18	富山県					0	42	長崎県			14	14	28
19	石川県	13				13	43	熊本県					0
20	福井県	13	14	14	14	55	44	大分県		14			14
21	静岡県					0	45	宮崎県	13				13
22	愛知県			14		14	46	鹿児島県		14	14	14	42
23	三重県	12				12	47	沖縄県					0
24	岐阜県		14		14	28	合 計		168	181	178	182	709



選手名簿

成年男子

東近江市



【成年男子】 チーム名 北 海 道

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	高 橋 篤	タカハシ アツシ	(株) 酒井組
1	投 手	22	高 山 徹	タカヤマ トオル	(株) れんせん
2	捕 手	12	中 尾 善 尚	ナカオ ヨシナオ	(株) 奥村組
3	一塁手	24	岡 田 将 弥	オカダ マサヤ	ようてい農業協同組合
4	二塁手	2	山 本 博 丈	ヤマモト ヒロタケ	北海道大学
5	三塁手	21	青 柳 美 勝	アオヤギ ヨシカツ	北海道大学大学院
6	遊撃手	7	舟 山 主 浩	フナヤマ カズヒロ	八雲町消防本部
7	左翼手	18	吉 川 大 智	ヨシカワ タイチ	北海道大学大学院
8	中堅手	6	高 橋 海 渡	タカハシ カイト	三井住友海上エージェンシー・サービス (株)
9	右翼手	10	大 保 拓 真	ダイボ タクマ	北海道旅客鉄道 (株) 苗穂工場
10	投 手	1	高 橋 仁 志	タカハシ ヒトシ	北海道大学
11	右翼手	3	藤 島 優 祐	フジシマ ユウスケ	(有) チハラ住建
12	三塁手	13	井 原 晃	イハラ コ ウ	北海道大学

【成年男子】 チーム名 岩 手 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	西 尾 光 明	ニシオ ミツアキ	学校法人大釜学園大釜幼稚園保育園 (職)
1	投 手	17	大日向 巧	オオヒナタ タクミ	花巻市立東和中学校 (教)
2	捕 手	5	大 坂 優 介	オオサカ ユウスケ	日本郵便株式会社水沢郵便局
3	一塁手	6	泉 澤 直 樹	イズミサワ ナオキ	東日本旅客鉄道株式会社
4	二塁手	1	道 源 康 太	ドウゲン コウタ	北上市役所
5	三塁手	9	櫻 田 亮 介	サクラダ リョウスケ	一関市役所
6	遊撃手	14	岩 木 宏 弥	イワキ ヒロヤ	奥州市立姉体小学校 (教)
7	左翼手	10	吉 田 匠	ヨシダ タクミ	公益財団法人岩手県予防医学協会
8	中堅手	4	服 部 唯 人	ハットリ ユイト	北上市立南小学校 (教)
9	右翼手	7	鈴 木 比 呂	スズキ ヒ ロ	全農東北エネルギー株式会社岩手支店
10	投 手	20	木 村 優 希	キムラ ユウキ	N O K株式会社
11	捕 手	11	向 井 健太朗	ムカイ ケンタロウ	一関市役所
12	三塁手	16	田 上 涉 壘	タガミ ワタル	中京学院大学



【成年男子】 チーム名 福島県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	二 瓶 美恵子	ニヘイ ミエコ	須賀川信用金庫本部
1	一塁手	10	塩 沼 泰 成	シオヌマ タイセイ	いわき市立三和小学校（教）
2	中堅手	15	本 田 拓 史	ホンダ ヒロシ	株式会社 協和地質
3	二塁手	8	大 野 光 貴	オオノ コウキ	大野工業
4	捕 手	2	佐 藤 輝	サトウ ヒカル	本田技研工業株式会社
5	左翼手	25	松 本 智 貴	マツモト トモキ	福島県立会津支援学校（教）
6	左翼手	23	後 藤 真 誓	ゴトウ シンセイ	株式会社 不動テトラ
7	投 手	29	安 部 竜 空	アベ リュウク	中京学院大学
8	右翼手	7	松 本 舜 輔	マツモト シュンスケ	七福整骨医院
9	三塁手	36	渡 邊 智 範	ワタナベ トモノリ	株式会社 平成
10	三塁手	9	川 崎 裕 斗	カワサキ ユウト	株式会社 ニノテック
11	遊撃手	1	佐久間 亮 太	サクマ リョウタ	株式会社 レウナ興業
12	一塁手	6	齋 藤 裕 人	サイトウ ヒロト	丸磯建設株式会社

【成年男子】 チーム名 栃 木 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	浦 本 大 嗣	ウラモト ダイシ	Honda
1	二塁手	2	葛 野 奏	クズノ カナタ	Honda
2	遊撃手	7	桑 村 純 平	クワムラ ジュンペイ	Honda
3	右翼手	8	福 田 空 脩	フクダ アシュウ	Honda
4	中堅手	9	川 島 大 空	カワシマ ソ ラ	Honda
5	左翼手	10	坂 田 大 士	サカタ ヒロシ	Honda
6	投 手	11	池 田 空 生	イケダ ヒロキ	Honda
7	捕 手	12	野 澤 空 汰	ノザワ ソラタ	Honda
8	一塁手	15	遠 畑 光 希	トウハタ コウキ	Honda
9	投 手	16	大 坪 優 也	オオツボ ユウヤ	Honda
10	投 手	24	長 井 風 雅	ナガイ フウガ	Honda
11	右翼手	27	藤 原 綜 俊	フジワラ ソウシュン	Honda
12	三塁手	3	高 浪 雄 大	タカナミ ユウダイ	Honda

【成年男子】 チーム名 埼 玉 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	吉 形 太 佑	ヨシカタ ダイスケ	埼玉県庁クラブ
1	投 手	18	中 島 悠 貴	ナカジマ ユウキ	埼玉県庁クラブ
2	捕 手	1	岡 野 孝 祐	オカノ コウスケ	埼玉県庁クラブ
3	一塁手	15	大 島 烈 士	オオシマ レ オ	日本体育大学
4	二塁手	13	西 田 勘 汰	ニシダ カンタ	埼玉県庁クラブ
5	三塁手	22	工 藤 慎 平	クドウ シンペイ	埼玉県庁クラブ
6	遊撃手	10	祝 弘 樹	イワイ ヒロキ	埼玉県庁クラブ
7	左翼手	11	矢 野 崇 史	ヤ ノ タカシ	埼玉県庁クラブ
8	中堅手	7	小 林 泰 士	コバヤシ タイシ	原巽ジャガーズ
9	右翼手	20	松 本 勇 亮	マツモト ユウスケ	埼玉県庁クラブ
10	投 手	17	島 田 将 季	シマダ マサキ	原巽ジャガーズ
11	捕 手	14	森 颯 真	モ リ ソウマ	埼玉県庁クラブ
12	投 手	24	和 田 朋 也	ワ ダ トモヤ	埼玉県庁クラブ

【成年男子】 チーム名 石 川 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	海 道 正 人	カイドウ マサト	コマニー株式会社
1	捕 手	10	裏 拓 光	ウ ラ タクミ	コマニー株式会社
2	左翼手	15	山 下 緋 琉	ヤマシタ ヒリュウ	コマニー株式会社
3	二塁手	19	押 兼 悠 馬	オシカネ ユウマ	コマニー株式会社
4	二塁手	22	松 山 和 貴	マツヤマ カズキ	佐賀市立春日北小学校（教）
5	投 手	23	堀 将 治	ホ リ マサハル	能美市立辰口中央小学校（教）
6	投 手	24	藤 原 智 徳	フジワラ トモノリ	コマニー株式会社
7	右翼手	34	出 嶋 聖 治	デジマ セイチ	コマニー株式会社
8	三塁手	43	清 水 公 貴	シミズ コウキ	コマニー株式会社
9	遊撃手	50	小 山 竜 加	オヤマ リュウガ	コマニー株式会社
10	一塁手	88	高 鵜 建 史	タカクワ ケンシ	加賀市立片山津小学校（教）
11	一塁手	56	山 田 裕 紀	ヤマダ ヒロキ	コマニー株式会社
12	中堅手	71	小 滝 海 斗	オダキ カイト	コマニー株式会社



【成年男子】 チーム名 福 井 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	牛 若 祐 喜	ウシワカ ユウキ	(株)アイビス高島
1	投 手	46	大 西 泰 河	オオニシ タイガ	株式会社 ジェイテクト
2	捕 手	1	本 塚 勇 太	モトヅカ ユウタ	日本エコシステム株式会社
3	一塁手	2	福 田 楓 士	フクダ フウト	福井県済生会病院
4	二塁手	24	大 西 楓 耶	オオニシ フウヤ	株式会社 福井銀行
5	三塁手	5	山 本 亮 馬	ヤマモト リョウマ	株式会社 ジェイテクト
6	遊撃手	10	本 塚 宏 太	モトヅカ コウタ	株式会社 ユティック
7	左翼手	8	津 田 龍 輝	ツ ダ リュウキ	日本体育大学
8	中堅手	11	嶋 田 将 也	シマダ マサヤ	ナカヤ化学産業株式会社
9	右翼手	7	轉法輪 侑 孝	テンボウリン ユウタ	日本エコシステム株式会社
10	投 手	20	嶋 田 智 希	シマダ トモキ	福井県立武生高等学校（職）
11	投 手	13	梅 田 瑠 河	ウメダ リュウガ	岐阜聖徳学園大学
12	左翼手	6	影 山 心	カゲヤマ シ ン	日本エコシステム株式会社

【成年男子】 チーム名 三 重 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	櫻 庭 佑 輔	サクラバ ユウスケ	(公財)四日市市スポーツ協会
1	投 手	5	河 野 拓 郎	カワノ タクロウ	三重県庁
2	捕 手	11	上 田 郁 也	ウエダ フミヤ	津市立朝陽中学校(教)
3	遊撃手	52	芦 田 翔	アシダ ショウ	三重県庁
4	二塁手	6	京 谷 優 吾	キョウタニ ユウゴ	三重県庁
5	投 手	15	酒 井 匠	サカイ タクミ	水ingAM株式会社
6	一塁手	3	久 田 莉 也	ヒサタ レイヤ	三重県庁
7	左翼手	10	井 上 匠	イノウエ タクミ	松阪興産株式会社
8	右翼手	7	新 井 優 太	アライ ユウタ	パナソニックEW電材三重株式会社
9	三塁手	30	櫻 庭 佑 輔	サクラバ ユウスケ	(公財)四日市市スポーツ協会
10	左翼手	2	岡 陽 基	オ カ ハルキ	株式会社トーエネック
11	中堅手	37	松 浦 稜 太	マツウラ リョウタ	中京大学
12	右翼手	25	宮 本 祐 道	ミヤモト ユウドウ	日本体育大学

【成年男子】 チーム名 大 阪 府

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	長 秀 一	オ サ シュウイチ	大阪・堺グローバル
1	投 手	18	谷 本 聖 也	タニモト セイヤ	大阪・堺グローバル
2	捕 手	22	長谷川 敬 広	ハセガワ タカヒロ	大阪・堺グローバル
3	一塁手	32	小 川 慧	オガワ アキラ	大阪・堺グローバル
4	二塁手	61	古 賀 亮 祐	コガ リョウスケ	日本体育大学
5	三塁手	6	筒 井 拓 友	ツツイ タクト	大阪桃次郎
6	遊撃手	46	大 川 竜 志	オオカワ リュウジ	ジェイテクト
7	左翼手	10	橋 本 慎	ハシモト シ ン	大阪・堺グローバル
8	中堅手	9	中 谷 玖 都	ナカヤ キュウト	大阪・堺グローバル
9	右翼手	25	西 角 和 馬	サイカド カズマ	大阪・堺グローバル
10	投 手	31	北 添 政 樹	キタゾエ マサキ	大阪・堺グローバル
11	三塁手	17	高 草 昂 大	タカクサ コウダイ	大阪桃次郎
12	右翼手	51	中 瀬 将 輝	ナカセ マサキ	大阪・堺グローバル

【成年男子】 チーム名 岡 山 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	平 本 拓 朗	ヒラモト タクロウ	平林金属株式会社
1	二塁手	10	八 角 光太郎	ヤスミ コウタロウ	平林金属株式会社
2	遊撃手	4	井 上 裕太郎	イノウエ ユウタロウ	平林金属株式会社
3	三塁手	7	黒 岩 陽 斗	クロイワ ハルト	平林金属株式会社
4	右翼手	8	小 島 聖 矢	コジマ セイヤ	平林金属株式会社
5	捕 手	12	藤 井 雅 広	フジイ マサヒロ	平林金属株式会社
6	投 手	14	景 山 蓮	カゲヤマ レ ン	平林金属株式会社
7	投 手	15	阿 曾 慣 太	ア ソ カンタ	平林金属株式会社
8	投 手	17	小 山 玲 央	コヤマ レ オ	平林金属株式会社
9	右翼手	18	大久保 潤 人	オオクボ ヒロト	平林金属株式会社
10	左翼手	34	和 田 彩 斗	ワ ダ アヤト	平林金属株式会社
11	一塁手	35	鳥 山 和 也	トリヤマ カズヤ	平林金属株式会社
12	中堅手	42	浜 本 悌	ハマトモ テ イ	平林金属株式会社



【成年男子】 チーム名 愛 媛 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	客 野 卓 也	キャクノ タクヤ	(株) 南洋建設
1	右翼手	20	小 島 銀 河	コジマ ギンガ	(株) ウエストコンサルタント
2	中堅手	15	佐々本 集 斗	ササモト シュウト	(株) 南洋建設
3	三塁手	23	池 本 卓 郎	イケモト タクロウ	(株) ウエストコンサルタント
4	遊撃手	10	濱 田 慎	ハマダ シ ン	愛媛県競技力向上対策本部
5	左翼手	19	眞 鍋 治 人	マナベ ハルト	(株) ウエストコンサルタント
6	一塁手	1	藤 田 魁 皇	フジタ カイオウ	(株) ウエストコンサルタント
7	二塁手	7	磯 金 ヒロト	イソカネ ヒロト	(株) ウエストコンサルタント
8	捕 手	14	藤 原 琢 磨	フジワラ タクマ	愛媛県競技力向上対策本部
9	投 手	25	西 村 太 洋	ニシムラ タイヨウ	(株) ウエストコンサルタント
10	三塁手	24	渡 部 晶 斗	ワタナベ アキト	愛媛大学大学院
11	中堅手	12	菊 川 智 己	キクカワ トモキ	豊田自動織機
12	投 手	22	渡 部 颯 真	ワタナベ ソウマ	中京大学

【成年男子】 チーム名 宮 崎 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	松 岡 真 央	マツオカ マサテル	旭化成株式会社
1	三塁手	8	上 杉 大 輝	ウエスギ タイキ	旭化成株式会社
2	左翼手	3	椎 葉 巨 将	シイバ ナオマサ	旭化成株式会社
3	一塁手	24	川 田 直 諒	カワダ ナオアキ	旭化成株式会社
4	投 手	11	寺 原 瑞 希	テラバル ミズキ	旭化成株式会社
5	捕 手	2	赤 木 優 太	アカギ ユウタ	旭化成株式会社
6	右翼手	1	黒 木 功 弥	クロギ コウヤ	旭化成株式会社
7	二塁手	10	永 吉 飛 斗	ナガヨシ ヒット	旭化成株式会社
8	遊撃手	6	黒 木 勝 明	クロギ カツアキ	旭化成株式会社
9	投 手	17	池 田 響	イケダ ヒビキ	旭化成株式会社
10	中堅手	25	坂 本 滉 生	サカモト コウタ	旭化成株式会社
11	捕 手	5	米 野 智 陽	コメノ トモアキ	旭化成株式会社
12	右翼手	7	島 田 尚 翔	シマダ ナオト	旭化成株式会社

【成年男子】	チーム名	滋賀県
--------	------	-----

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	石 井 賀一郎	イシイ カイチロウ	近江八幡市運動公園
1	投 手	24	相 島 宏 郁	アイシマ ヒロフミ	株式会社 山久
2	捕 手	7	宮 城 太 亮	ミヤギ タイスケ	株式会社 山久
3	二塁手	8	宮 平 大 空	ミヤヒラ ヒロタカ	栗東市立金勝小学校（教）
4	三塁手	10	中 村 祥 悟	ナカムラ ショウゴ	日本精工株式会社石部工場
5	一塁手	31	柴 原 惇 志	シバハラ アツシ	株式会社 新洲
6	一塁手	25	佐々木 数 馬	ササキ カズマ	米原市立米原小学校（教）
7	二塁手	4	辻 天 薫	ツ ジ タカマサ	滋賀県立彦根東高等学校（教）
8	遊撃手	16	杉 田 拓	スギタ タ ク	東近江市立能登川南小学校（教）
9	一塁手	22	中 島 悠 愛	ナカジマ ユウマ	滋賀県立草津養護学校（教）
10	左翼手	13	平 井 至	ヒライ イタル	近江八幡市立安土小学校（教）
11	中堅手	6	大 城 周 人	オオシロ シュウト	大津市立田上小学校（教）
12	右翼手	28	中 島 凌 愛	ナカジマ リョウマ	株式会社流通サービス 南草津センター



選手名簿

成年女子

高島市



【成年女子】 チーム名 北 海 道

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	迎 あすか	ムカエ アスカ	佐川急便（株）
1	投 手	1	竹ヶ原 凜	タケガハラ リ ン	佐川急便（株）
2	投 手	3	佐 竹 彩 樺	サタケ アヤカ	佐川急便（株）
3	投 手	19	小 泉 幸 代	コイズミ サチヨ	（福）恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽病院
4	捕 手	87	佐 藤 誉	サトウ ホマレ	（株）リ्यूツー
5	捕 手	11	渋谷 奈津美	シブヤ ナツミ	石狩市立紅南小学校（教）
6	一塁手	6	五十嵐 遥 永	イガラシ ハルカ	佐川急便（株）
7	二塁手	10	南 香 子	ミナミ カオルコ	佐川急便（株）
8	三塁手	12	中 村 小 雪	ナカムラ コユキ	石狩市立石狩中学校（教）
9	遊撃手	2	千 田 杏 実	チ ダ ア ミ	札幌市立北小学校（教）
10	左翼手	5	平 川 美 里	ヒラカワ ミサト	千歳市立祝梅小学校（教）
11	中堅手	8	畠 山 真 緒	ハタケヤマ マ オ	佐川急便（株）
12	右翼手	18	中 村 七 海	ナカムラ ナナミ	石狩市役所
13	中堅手	4	佐々木 輝	ササキ ヒカリ	佐川急便（株）

【成年女子】 チーム名 青 森 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	溝 江 香 澄	ミゾエ カスミ	NECプラットフォームズ
1	二塁手	10	須 藤 志 歩	ストウ シ ホ	豊田自動織機
2	投 手	1	金 子 歩	カネコ アユム	なし
3	捕 手	2	村 岡 蘭	ムラオカ ラ ン	富士大学
4	投 手	3	佐々木 梨 奈	ササキ リ ナ	富士大学
5	遊撃手	4	後 藤 実 来	ゴトウ ミ ク	トヨタレッドテリアーズ
6	一塁手	5	奈良岡 里 穂	ナラオカ リ ホ	豊田自動織機
7	中堅手	6	渡 辺 翠	ワタナベ ス イ	年中夢球
8	左翼手	7	今 井 愛	イマイ マナミ	環太平洋大学
9	三塁手	8	佐々木 来 流	ササキ ライル	サンフラワーズ
10	捕 手	9	須 藤 愛 心	ストウ エ ミ	東北福祉大学
11	左翼手	11	福 士 陽 菜	フクシ ヒ ナ	富士大学
12	右翼手	12	白 取 しゅう	シラトリ シュウ	富士大学
13	二塁手	30	溝 江 香 澄	ミゾエ カスミ	NECプラットフォームズ



【成年女子】 チーム名 宮 城 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	舟 山 健 一	フナヤマ ケンイチ	東北福祉大学 (教)
1	投 手	10	早 坂 青 空	ハヤサカ ソ ラ	東北福祉大学
2	投 手	1	金 野 夏 凜	コンノ カリン	東北福祉大学
3	捕 手	2	小 林 明 音	コバヤシ アカネ	東北福祉大学
4	一塁手	3	上遠野 真 緒	カトオノ マ オ	東北福祉大学
5	二塁手	4	小坂井 心 海	コザカイ ココミ	東北福祉大学
6	三塁手	5	松 澤 和 香	マツザワ ワ カ	東北福祉大学
7	遊撃手	6	加 茂 衣帆莉	カ モ イオリ	東北福祉大学
8	左翼手	7	雪 野 望 乃	ユキノ ノ ノ	東北福祉大学
9	中堅手	8	北 村 萌 恵	キタムラ モ エ	東北福祉大学
10	右翼手	9	立 木 穂乃果	ツイキ ホノカ	東北福祉大学
11	一塁手	11	佐 藤 柚 依	サトウ ユ イ	東北福祉大学
12	投 手	12	北 村 優 有	キタムラ ユ ウ	東北福祉大学
13	中堅手	13	石 川 亜 恋	イシカワ ア コ	東北福祉大学

【成年女子】 チーム名 栃 木 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	濱 中 武 直	ハマナカ タケナオ	本田技研工業(株)
1	投 手	3	松 下 華 菜	マツシタ カ ナ	本田技研工業(株)
2	捕 手	11	棚 町 佳 奈	タナマチ カ ナ	本田技研工業(株)
3	捕 手	12	安 山 涼 香	ヤスヤマ スズカ	本田技研工業(株)
4	捕 手	6	山 口 未 葵	ヤマグチ イマキ	本田技研工業(株)
5	一塁手	9	大 川 菜 由	オオカワ マ ユ	本田技研工業(株)
6	一塁手	2	山 根 葉 月	ヤマネ ハヅキ	本田技研工業(株)
7	二塁手	13	川 畑 瞳	カワバタ ヒトミ	本田技研工業(株)
8	三塁手	10	菱 谷 香 実	ヒシタニ コウミ	本田技研工業(株)
9	遊撃手	5	渡 邊 瑞 貴	ワタナベ ミズキ	本田技研工業(株)
10	左翼手	7	林 菜 央	ハヤシ マ オ	本田技研工業(株)
11	中堅手	16	堀 内 香 瑚	ホリウチ カ コ	本田技研工業(株)
12	右翼手	14	秋 豆 朱 音	アキズ アカネ	本田技研工業(株)
13	投 手	4	新 宮 怜 美	シングウ レ ミ	本田技研工業(株)

【成年女子】 チーム名 群 馬 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	岩 渕 有 美	イワブチ ユ ミ	(株) ビックカメラ
1	投 手	10	勝 股 美 咲	カツマタ ミサキ	(株) ビックカメラ
2	投 手	28	伊 東 杏 珠	イトウ アンジュ	(株) ビックカメラ
3	投 手	13	曾 根 はん奈	ソ ネ ハンナ	太陽誘電 (株)
4	捕 手	2	井 出 久 美	イ デ ク ミ	(株) ビックカメラ
5	一塁手	3	須 田 真 琴	ス ダ マコト	太陽誘電(株)
6	二塁手	6	小 松 優 月	コマツ ユヅキ	太陽誘電(株)
7	遊撃手	11	伊 波 蘭	イ ハ ラ ン	(株) ビックカメラ
8	三塁手	18	炭 谷 遥 香	スミタニ ハルカ	(株) ビックカメラ
9	左翼手	9	花 浦 ひかり	ハナウラ ヒカリ	(株) ビックカメラ
10	中堅手	26	橋 本 芽 衣	ハシモト メ イ	太陽誘電 (株)
11	右翼手	7	渡 辺 華 奈	ワタナベ カ ナ	(株) ビックカメラ
12	一塁手	15	上 林 藍 子	カミバヤシ アイコ	太陽誘電(株)
13	左翼手	1	原 田 実 優	ハラダ ミヒロ	(株) ビックカメラ

【成年女子】 チーム名 福 井 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	林 聖 恵	ハヤシ キヨエ	個人事業主
1	投 手	13	寺 川 亜 美	テラカワ ア ミ	福井南高等学校 (教)
2	一塁手	10	黒 田 菜 那	クロダ ナ ナ	株式会社 デンソー
3	投 手	15	鈴 木 春 菜	スズキ ハルナ	医療法人 健康会
4	一塁手	25	佐 藤 杏 美	サトウ ア ミ	戸田中央総合病院
5	三塁手	16	山 本 佳 世	ヤマモト カ ヨ	静甲株式会社
6	捕 手	17	角 平 優	カクヒラ ユ ウ	株式会社 東海理化
7	投 手	22	高 橋 音 森	タカハシ ネ モ	信武磁工株式会社
8	遊撃手	24	小 林 楓	コバヤシ カエデ	トヨタ自動車株式会社
9	二塁手	23	佐 藤 くるみ	サトウ クルミ	啓新高等学校 (教)
10	中堅手	14	宇 野 このみ	ウ ノ コノミ	日本精工株式会社
11	左翼手	20	矢 野 桃 子	ヤ ノ モモコ	東海学園大学
12	右翼手	18	木戸口 紗 英	キドグチ サ エ	福井厚生病院
13	右翼手	19	高 田 有実香	タカダ ユミカ	日本生命保険相互会社



【成年女子】 チーム名 岐 阜 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	須 藤 麻里子	スドウ マリコ	大垣ミナモソフトボールクラブ
1	中堅手	10	瀬戸口 梨 乃	セトグチ リ ノ	西濃運輸株式会社
2	投 手	17	田 中 真 矢	タナカ マ ヤ	神鋼造機株式会社
3	投 手	18	中 村 美 瑠	ナカムラ ミリュウ	西美濃農業協同組合
4	投 手	19	三 堀 茉莉愛	ミホリ マリア	イビデン株式会社
5	捕 手	5	岩 月 優 衣	イワツキ ユ イ	サンメッセ株式会社
6	一塁手	1	小 林 綾 実	コバヤシ アヤミ	西美濃農業協同組合
7	一塁手	2	戸 田 陽 菜	ト ダ ハルナ	太平洋工業株式会社
8	一塁手	3	谷 ひなた	タ ニ ヒナタ	大垣西濃信用金庫
9	二塁手	9	中 野 凜 良	ナカノ リ ラ	株式会社大光
10	二塁手	15	小 西 陽 菜	コニシ ヒ ナ	イビデン株式会社
11	三塁手	16	鈴 村 二千花	スズムラ ニチカ	矢橋ホールディングス株式会社
12	左翼手	4	成 田 音々香	ナリタ ネネカ	大垣西濃信用金庫
13	左翼手	8	川 地 葵	カワチ アオイ	西濃運輸株式会社

【成年女子】 チーム名 京 都 府

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	加 藤 愛	カトウ ア イ	SGホールディングスギャラクシースターズ
1	二塁手	10	山 本 星	ヤマモト アカリ	SGホールディングスギャラクシースターズ
2	遊撃手	1	川 原 千 賢	カワハラ チサト	SGホールディングスギャラクシースターズ
3	投 手	3	新 井 真 奈	アライ マ ナ	SGホールディングスギャラクシースターズ
4	三塁手	5	二 見 亜 希	フタミ ア キ	SGホールディングスギャラクシースターズ
5	左翼手	6	小 暮 沙 希	コグレ サ キ	SGホールディングスギャラクシースターズ
6	三塁手	7	森 田 あさひ	モリタ アサヒ	SGホールディングスギャラクシースターズ
7	捕 手	8	藤 原 麻 由	フジハラ マ ユ	SGホールディングスギャラクシースターズ
8	中堅手	9	中 村 優 花	ナカムラ ユ カ	SGホールディングスギャラクシースターズ
9	右翼手	11	木 下 華 恋	キノシタ カレン	SGホールディングスギャラクシースターズ
10	投 手	12	小 川 美沙希	オガワ ミサキ	SGホールディングスギャラクシースターズ
11	投 手	13	永 井 柚 衣	ナガイ ユ イ	SGホールディングスギャラクシースターズ
12	二塁手	14	宮 本 愛 里	ミヤモト アイリ	SGホールディングスギャラクシースターズ
13	捕 手	15	吉 田 真 央	ヨシダ マ オ	SGホールディングスギャラクシースターズ

【成年女子】 チーム名 鳥 取 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	吉 田 央	ヨシダ ヒサシ	琴浦町立東伯中学校（教）
1	捕 手	5	女鹿田 千 紘	メカダ チヒロ	日立製作所横浜事業所
2	投 手	16	櫻 田 采 音	サクラダ コトネ	同志社大学
3	二塁手	1	北 野 菜奈美	キタノ ナナミ	武庫川女子大学
4	左翼手	8	田 井 樹梨愛	タ イ ジュリア	大阪保険福祉専門学校
5	投 手	10	川 村 まつり	カワムラ マツリ	医療法人仁康会 小泉病院
6	中堅手	7	矢 追 姫 愛	ヤオイ ヒナリ	鳥取県立倉吉総合産業高等学校（教）
7	一塁手	13	大 迫 心 華	オオサコ コノカ	同志社大学
8	右翼手	12	寺 西 真 梨	テラニシ マリン	星城大学
9	三塁手	4	藤 本 結 衣	フジモト ユ イ	日本体育大学
10	一塁手	14	森 村 那 海	モリムラ ナ ミ	大阪保険福祉専門学校
11	遊撃手	3	福 井 杏 奈	フクイ アンナ	立命館大学
12	投 手	11	奥 野 心	オクノ ココロ	日立製作所横浜事業所
13	中堅手	17	松 田 優 奈	マツダ ユウナ	松江総合医療専門学校

【成年女子】 チーム名 愛 媛 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	石 村 寛	イシムラ ヒロシ	（株）伊予銀行
1	投 手	9	庄 司 奈 々	ショウジ ナ ナ	（株）伊予銀行
2	投 手	18	黒 木 美 紀	クロキ ミノリ	（株）伊予銀行
3	捕 手	10	安 川 裕 美	ヤスカワ ヒロミ	（株）伊予銀行
4	遊撃手	14	辻 井 美 波	ツジイ ミナミ	（株）伊予銀行
5	右翼手	7	本 間 紀 帆	ホンマ キ ホ	（株）伊予銀行
6	一塁手	22	井 上 瑞 希	イノウエ ミズキ	（株）伊予銀行
7	二塁手	3	芦 田 歩 実	アシダ アユミ	（株）伊予銀行
8	中堅手	1	齋 藤 明日加	サイトウ アスカ	（株）伊予銀行
9	二塁手	13	瀧 川 愛 海	タキカワ ア ミ	（株）伊予銀行
10	投 手	25	小 泉 夢 乃	コイズミ ユメノ	（株）伊予銀行
11	左翼手	15	庄 村 瑠 衣	ショウムラ ル イ	（株）伊予銀行
12	三塁手	28	竹 光 久莉寿	タケミツ クリス	（株）伊予銀行
13	左翼手	8	岩 永 優衣里	イワナガ ユイリ	（株）伊予銀行



【成年女子】 チーム名 大 分 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	長 澤 佳 子	ナガサワ ヨシコ	日本文理大学（職）
1	遊撃手	10	漆 原 花	ウルシハラ ハ ナ	日本文理大学
2	投 手	1	鶴 田 美 優	ツルタ ミ ユ	日本文理大学
3	投 手	15	狩 口 彩 瑛	カグチ サ エ	日本文理大学
4	捕 手	2	岡 部 七 海	オカベ ナナミ	日本文理大学
5	一塁手	8	山 田 乃 愛	ヤマダ ノ ア	日本文理大学
6	二塁手	13	有 元 杏	アリモト キョウ	日本文理大学
7	遊撃手	7	新 森 ひかる	シンモリ ヒカル	日本文理大学
8	三塁手	5	榎 春 菜	エノキ ハルナ	日本文理大学
9	左翼手	11	柄 澤 杏 樹	カラサワ アンジュ	日本文理大学
10	中堅手	6	早 田 真 愛	ハヤタ マナサ	日本文理大学
11	右翼手	14	黒 瀬 笑	クロセ エ ミ	日本文理大学
12	右翼手	17	雨 宮 芙由子	アメミヤ フユコ	日本文理大学
13	右翼手	9	藤 野 加 奈	フジノ カ ナ	日本文理大学

【成年女子】 チーム名 鹿 児 島 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	前 裕 也	ススメ ユウヤ	MORIALLOWAVEKANOYA
1	投 手	18	竹 原 由 菜	タケハラ ユウナ	MORIALLOWAVEKANOYA
2	右翼手	7	福 元 彩 未	フクモト アヤミ	MORIALLOWAVEKANOYA
3	中堅手	9	濱 本 叶 美	ハマモト カナミ	MORIALLOWAVEKANOYA
4	一塁手	3	藤 野 亜 美	フジノ ア ミ	MORIALLOWAVEKANOYA
5	二塁手	8	鈴 木 真由子	スズキ マユコ	MORIALLOWAVEKANOYA
6	三塁手	10	新 谷 静	アラヤ シズカ	MORIALLOWAVEKANOYA
7	遊撃手	5	藤 本 音 羽	フジモト オトハ	MORIALLOWAVEKANOYA
8	左翼手	2	藤 田 直	フジタ ナ オ	MORIALLOWAVEKANOYA
9	投 手	11	猩 々 紫 月	ショウジョウ シヅキ	MORIALLOWAVEKANOYA
10	遊撃手	17	佐々木 桃 花	ササキ モモカ	MORIALLOWAVEKANOYA
11	捕 手	24	鈴 木 真 央	スズキ マ オ	MORIALLOWAVEKANOYA
12	捕 手	1	黒 木 ひらり	クロキ ヒラリ	MORIALLOWAVEKANOYA
13	左翼手	4	山 根 楓 加	ヤマネ フウカ	MORIALLOWAVEKANOYA

【成年女子】	チーム名	滋賀県
--------	------	-----

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	田 中 江理奈	タナカ エリナ	日本精工ブレイブベアリーズ
1	捕 手	10	小 泉 向日葵	コイズミ ヒマリ	日本精工ブレイブベアリーズ
2	投 手	3	小 栗 巳織乃	オグリ シオノ	日本精工ブレイブベアリーズ
3	投 手	17	和 田 凜	ワ ダ リ ン	日本精工ブレイブベアリーズ
4	投 手	18	鈴 木 りりか	スズキ リリカ	日本精工ブレイブベアリーズ
5	中堅手	7	橋 本 花 音	ハシモト カノン	日本精工ブレイブベアリーズ
6	捕 手	20	栗 原 伊 代	クワハラ イ ヨ	日本精工ブレイブベアリーズ
7	遊撃手	5	矢 藤 輝羅菜	ヤトウ キラナ	日本精工ブレイブベアリーズ
8	三塁手	12	岡 崎 仁 美	オカザキ ヒトミ	日本精工ブレイブベアリーズ
9	二塁手	1	岡 本 采 子	オカモト アヤコ	日本精工ブレイブベアリーズ
10	右翼手	6	弓納持 あ み	ユミナモチ ア ミ	日本精工ブレイブベアリーズ
11	左翼手	4	幸 内 保乃香	コウナイ ホノカ	日本精工ブレイブベアリーズ
12	一塁手	11	伊 藤 美 紅	イトウ ミ ク	日本精工ブレイブベアリーズ
13	遊撃手	14	谷 口 愛 理	タニグチ アイリ	立命館大学



選手名簿

少年男子

草津市



【少年男子】 チーム名 北海道

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	阿 部 匡 仁	ア ベ マサヒト	北海道石狩南高等学校（教）
1	投 手	1	千 葉 颯	チ バ ハヤテ	北海道札幌東陵高等学校
2	捕 手	78	阿 部 輝 星	ア ベ キ ラ	北海道札幌東陵高等学校
3	一塁手	10	吉 田 淳之輔	ヨシダ ジュンノスケ	札幌北斗高等学校
4	二塁手	43	田 中 里駆也	タナカ リクヤ	北海道札幌東陵高等学校
5	三塁手	3	能 澤 蒼 斗	ノザワ アオト	市立札幌みなみの杜高等支援学校
6	遊撃手	56	新 林 優 斗	シンバヤシ ユウト	北海道札幌東陵高等学校
7	左翼手	5	八木澤 夏 希	ヤギサワ ナツキ	札幌北斗高等学校
8	中堅手	15	表 音 歩	オモテ ト ア	北海道札幌東陵高等学校
9	右翼手	7	和 田 海 人	ワ ダ カイト	札幌北斗高等学校
10					
11					
12					
13					

【少年男子】 チーム名 福島県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	大 森 史 仁	オオモリ フミヒト	福島県立郡山北工業高等学校（教）
1	中堅手	10	大 森 隼 斗	オオモリ ハヤト	福島県立郡山北工業高等学校
2	遊撃手	6	佐 藤 晟	サトウ ジョウ	福島県立郡山北工業高等学校
3	捕 手	8	吉 田 湊二郎	ヨシダ ソウジロウ	福島県立郡山北工業高等学校
4	三塁手	5	関 根 治 時	セキネ ハルト	福島県立郡山北工業高等学校
5	投 手	1	川 崎 直 哉	カワサキ ナオヤ	福島県立郡山北工業高等学校
6	一塁手	12	阿 部 義 智	ア ベ ヨシトモ	福島県立郡山北工業高等学校
7	二塁手	4	古 谷 創之介	フルヤ ソウノスケ	福島県立郡山北工業高等学校
8	投 手	18	鈴 木 大	スズキ ダ イ	福島県立郡山北工業高等学校
9	捕 手	11	三 浦 虎 徹	ミウラ コテツ	福島県立郡山北工業高等学校
10	右翼手	9	近 藤 瑞 稀	コンドウ ミズキ	福島県立郡山北工業高等学校
11	二塁手	7	本 田 瀬 人	ホンダ ライト	福島県立郡山北工業高等学校
12	二塁手	99	高 橋 翼 太	タカハシ エイタ	福島県立郡山北工業高等学校
13	左翼手	3	塩 澤 来 輝	シオザワ ライキ	福島県立須賀川創英館高等学校



【少年男子】 チーム名 群 馬 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	田 中 徹 浩	タナカ ユキヒロ	新島学園高等学校(教)
1	投 手	18	高 橋 悠 斗	タカハシ ユウト	新島学園高等学校
2	捕 手	5	神 保 蒼 司	ジンボ ソウシ	新島学園高等学校
3	一塁手	2	杉 原 亘	スギハラ ワタル	新島学園高等学校
4	二塁手	16	間 野 登 羽	マ ノ ト ワ	新島学園高等学校
5	三塁手	10	古 島 立 逸	フルシマ リイチ	新島学園高等学校
6	遊撃手	6	高 橋 尚 希	タカハシ ナオキ	新島学園高等学校
7	左翼手	19	中 山 武 信	ナカヤマ タケノブ	新島学園高等学校
8	中堅手	8	吉 濱 良 紋	ヨシハマ ラモン	新島学園高等学校
9	右翼手	1	原 長 雅	ハ ラ ナガマサ	新島学園高等学校
10	投 手	11	近 藤 諒 太	コンドウ リョウタ	新島学園高等学校
11	投 手	20	橋 爪 柊 磨	ハシヅメ シュウマ	新島学園高等学校
12	捕 手	4	岡 田 光	オカダ ヒカル	新島学園高等学校
13	中堅手	9	原 長 慶	ハ ラ ヒサヨシ	新島学園高等学校

【少年男子】 チーム名 神 奈 川 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	中 嶋 正	ナカジマ タダシ	光明学園相模原高等学校 (教)
1	投 手	1	久保寺 鮎 仁	クボテラ アユヒト	光明学園相模原高等学校
2	捕 手	2	鈴 木 俊 輔	スズキ シュンスケ	光明学園相模原高等学校
3	一塁手	5	山 下 冬 家	ヤマシタ トウヤ	光明学園相模原高等学校
4	二塁手	9	稲 葉 春 行	イナバ ハルユキ	光明学園相模原高等学校
5	三塁手	10	八 木 柑 太	ヤ ギ カンタ	光明学園相模原高等学校
6	遊撃手	15	芳 垣 映 虹	ヨシガキ エイコウ	横須賀学院高等学校
7	左翼手	12	原 徹 平	ハ ラ テッペイ	光明学園相模原高等学校
8	中堅手	3	八重樫 聡 太	ヤエガシ ソウタ	光明学園相模原高等学校
9	右翼手	8	金 定 健太郎	キンサダ ケンタロウ	光明学園相模原高等学校
10	投 手	6	譲 原 慧	ユズリハラ ケ イ	光明学園相模原高等学校
11	捕 手	7	井 上 權	イノウエ カ イ	横須賀学院高等学校
12	二塁手	11	鈴 木 壘 斗	スズキ ルイト	向上高等学校
13	投 手	17	板 倉 凜	イタクラ リ ン	横須賀学院高等学校

【少年男子】 チーム名 福 井 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	山 崎 均	ヤマザキ ヒトシ	啓新高等学校 (教)
1	投 手	19	倉 光 夏惟人	クラミツ カイト	啓新高等学校
2	捕 手	5	田 中 智 基	タナカ トモキ	啓新高等学校
3	一塁手	10	上 田 凌 久	ウエダ リ ク	啓新高等学校
4	二塁手	16	尾 崎 鳴 斗	オザキ ナルト	啓新高等学校
5	三塁手	17	坂 井 亮 祐	サカイ リョウスケ	啓新高等学校
6	遊撃手	1	小 藤 滋 臣	コフジ シゲオミ	啓新高等学校
7	左翼手	9	町 谷 凌 平	マチヤ リョウヘイ	啓新高等学校
8	中堅手	8	西 岡 蒼 琉	ニシオカ ソウル	啓新高等学校
9	右翼手	3	佐々木 優 斗	ササキ ユウト	啓新高等学校
10	投 手	20	有 坂 由 空	アリサカ ユ ラ	啓新高等学校
11	捕 手	14	阿比留 陽 斗	アビル アキト	啓新高等学校
12	遊撃手	4	吉 村 嵐 汰	ヨシムラ アラタ	啓新高等学校
13	投 手	18	露 木 徳太郎	ツユキ トクタロウ	啓新高等学校

【少年男子】 チーム名 愛 知 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	太 田 亘 哉	オオタ ノブヤ	豊川高等学校 (教)
1	三塁手	10	北 澤 諒 祐	キタザワ リョウスケ	豊川高等学校
2	投 手	1	安 井 陽 太	ヤスイ ヨウタ	豊川高等学校
3	捕 手	2	持 留 真 心	モチドメ マサト	豊川高等学校
4	一塁手	3	田 中 瑛 音	タナカ エイト	豊川高等学校
5	二塁手	4	山 本 翔空哉	ヤマモト カグヤ	豊川高等学校
6	遊撃手	6	横 内 隆 輝	ヨコウチ リ ク	豊川高等学校
7	左翼手	7	眞 河 優之介	マガワ ユウノスケ	豊川高等学校
8	中堅手	8	金 田 琉 惺	カナダ リュウセイ	豊川高等学校
9	右翼手	9	中 村 真 央	ナカムラ マ オ	豊川高等学校
10	投 手	11	板 倉 伶 和	イタクラ レ オ	豊川高等学校
11	三塁手	13	小 野 友 翔	オ ノ ユウト	豊川高等学校
12	右翼手	14	岡 崎 燈 眞	オカザキ トウマ	豊川高等学校
13	一塁手	15	岩 井 祐 輝	イワイ ユウキ	豊川高等学校



【少年男子】 チーム名 大 阪 府

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	重 松 佑 輔	シゲマツ ユウスケ	関西大倉高等学校 (教)
1	左翼手	13	米 澤 将 栄	ヨネザワ ショウエイ	上宮高等学校
2	中堅手	1	山 本 将 大	ヤマモト ショウタ	大阪府立北千里高等学校
3	三塁手	2	石 井 世以波	イシイ セイハ	利晶学園大阪立命館高等学校
4	捕 手	3	古 田 知 大	フルタ ハルト	利晶学園大阪立命館高等学校
5	遊撃手	15	朝 田 翔 揮	アサダ ショウキ	利晶学園大阪立命館高等学校
6	中堅手	10	久 米 翔	ク メ ショウ	興國高等学校
7	遊撃手	5	佐 藤 市之信	サトウ イチノシン	興國高等学校
8	二塁手	6	守 屋 慧 人	モリヤ ケイト	興國高等学校
9	投 手	7	池 辺 蒼 空	イケベ ソ ラ	興國高等学校
10	右翼手	8	藤 原 愁	フジワラ シュウ	興國高等学校
11	捕 手	9	山 田 優 一	ヤマダ ユウイチ	興國高等学校
12	一塁手	12	鈴 木 應 介	スズキ オウスケ	興國高等学校
13	投 手	16	牛 尾 龍 生	ウシオ リュウキ	興國高等学校

【少年男子】 チーム名 兵 庫 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	池 口 健一郎	イケグチ ケンイチロウ	神戸野田高等学校 (教)
1	投 手	10	江 藤 響 輝	エトウ ヒビキ	神戸野田高等学校
2	捕 手	1	遠 藤 英 泰	エンドウ ヒデヤス	神戸野田高等学校
3	遊撃手	6	高 瀬 賢 聖	タカセ ケンセイ	兵庫県立龍野高等学校
4	右翼手	16	横 山 朔大朗	ヨコヤマ サクタロウ	兵庫県立明石高等学校
5	一塁手	3	北 尾 英太	キタオ エイタ	神戸野田高等学校
6	三塁手	7	西 海 颯 馬	ニシウミ ソウマ	神戸野田高等学校
7	遊撃手	9	長 野 秀 祐	ナガノ シュウスケ	神戸野田高等学校
8	中堅手	12	毛 利 心 平	モウリ シンペイ	神戸野田高等学校
9	捕 手	17	中 川 颯 太	ナカガワ ソウタ	神戸野田高等学校
10	二塁手	5	菅 爽 雲	カン サワモ	兵庫県立龍野高等学校
11	投 手	18	花 畑 悠 真	ハナバタ ユウマ	兵庫県立龍野高等学校
12	右翼手	2	天 野 怜	アマノ レイ	滝川高等学校
13	遊撃手	8	岸 本 陵 汰	キシモト リョウタ	兵庫県立山崎高等学校

【少年男子】 チーム名 広島県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	日野 隼一	ヒノ シュンイチ	広島県立御調高等学校（教）
1	投手	12	中辻 文武	ナカツジ フミタケ	広島県立御調高等学校
2	捕手	17	佐伯 泰知	サエキ タイチ	広島県立御調高等学校
3	一塁手	20	小田 凌輔	オダ リョウスケ	広島県立御調高等学校
4	二塁手	15	阪田 准平	サカタ ジュンペイ	広島県立御調高等学校
5	三塁手	19	仁井 祐斗	ニイ ユウト	広島県立御調高等学校
6	遊撃手	16	藤本 優希	フジモト ユウキ	広島県立御調高等学校
7	左翼手	10	迫 大介	サコ ダイスケ	広島県立御調高等学校
8	中堅手	13	高橋 星風	タカハシ セナ	広島県立御調高等学校
9	右翼手	22	岡川 政也	オカガワ セイヤ	広島県立御調高等学校
10	投手	18	前友 春輝	マエトモ ハルキ	広島県立御調高等学校
11	遊撃手	21	赤木 琥多	アカギ コウタ	広島県立御調高等学校
12	中堅手	23	山縣 柊介	ヤマガタ シュウスケ	広島県立御調高等学校
13	捕手	25	横見瀬 隼人	ヨコミセ ハヤト	広島県立呉宮原高等学校

【少年男子】 チーム名 愛媛県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	遠藤 大輔	エンドウ ダイスケ	愛媛県立東温高等学校（教）
1	投手	10	高木 鳳史	タカギ コウシ	愛媛県立東温高等学校
2	捕手	3	池内 輝	イケウチ ヒカル	愛媛県立東温高等学校
3	遊撃手	2	川口 龍伸	カワグチ リュウシン	愛媛県立東温高等学校
4	左翼手	5	滝口 裕大	タキグチ ヒロト	愛媛県立東温高等学校
5	中堅手	14	白石 一颯	シライシ イブキ	愛媛県立東温高等学校
6	二塁手	11	宮内 應介	ミヤウチ オウスケ	愛媛県立松山工業高等学校
7	中堅手	9	井門 賢之介	イ ド ケンノスケ	愛媛県立東温高等学校
8	三塁手	8	本田 琉晟	ホンダ リュウセイ	愛媛県立松山工業高等学校
9	二塁手	7	原田 桂汰	ハラダ ケイタ	愛媛県立松山工業高等学校
10	捕手	1	石川 敦士	イシカワ アツト	愛媛県立松山工業高等学校
11	投手	18	矢野 結也	ヤノ ユウヤ	愛媛県立松山工業高等学校
12	右翼手	17	高木 凱司	タカギ カイシ	愛媛県立東温高等学校
13	中堅手	4	相原 悠飛	アイバラ ユウト	愛媛県立大洲高等学校



【少年男子】 チーム名 長 崎 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	山 口 義 男	ヤマグチ ヨシオ	長崎県立大村工業高等学校 (教)
1	投 手	11	北 川 氷 悟	キタガワ ヒョウゴ	長崎県立大村工業高等学校
2	投 手	17	濱 野 恵 成	ハマノ ケイセイ	長崎県立大村工業高等学校
3	左翼手	3	西 村 優 人	ニシムラ ヒロト	長崎県立佐世保西高等学校
4	捕 手	27	平 山 未 来	ヒラヤマ ミライ	長崎県立大村工業高等学校
5	遊撃手	10	遠 藤 隆 正	エンドウ タカマサ	長崎県立大村工業高等学校
6	一塁手	6	北 村 隆太郎	キタムラ リュウタロウ	長崎県立佐世保西高等学校
7	三塁手	5	山 田 陽 輝	ヤマダ ハルキ	長崎県立島原工業高等学校
8	右翼手	8	黒 田 拓 海	クロダ タクミ	長崎県立島原工業高等学校
9	二塁手	4	持 原 力	モチハラ リ キ	長崎県立大村工業高等学校
10	一塁手	21	村 上 有 翔	ムラカミ アリト	長崎県立大村工業高等学校
11	中堅手	1	大 島 拓 人	オオシマ ヒロト	長崎県立大村工業高等学校
12	右翼手	9	松 尾 透 真	マツオ トウマ	長崎県立大村工業高等学校
13	右翼手	7	東 遼 汰	ヒガシ リョウタ	長崎県立島原工業高等学校

【少年男子】 チーム名 鹿 児 島 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	釘 田 大 史	クギタ トモヒト	鹿児島県立鹿児島工業高等学校 (教)
1	投 手	10	松 元 琉 心	マツモト リュウシン	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
2	三塁手	5	牧 原 楓 真	マキハラ フウマ	鹿児島県立鹿屋農業高等学校
3	中堅手	4	請 園 大 斗	ウケゾノ ハルト	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
4	遊撃手	1	上 拂 壮 太	カミハライ ソウタ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
5	一塁手	15	中 間 将 二	ナカマ ショウジ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
6	捕 手	9	林 山 豪 起	ハヤシヤマ カツキ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
7	二塁手	6	小 谷 良 太	コタニ リョウタ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
8	左翼手	8	西 田 敏 希	ニシダ トシキ	鹿児島県立薩南工業高等学校
9	右翼手	7	剥 岩 岳 澄	ハギイワ ガクト	鹿児島県立加治木工業高等学校
10	三塁手	3	永 吉 来 寿	ナガヨシ ライズ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
11	投 手	11	小 濱 諒	オバマ リョウ	鹿児島県立鹿屋農業高等学校
12	捕 手	2	末 重 大 希	スエシゲ ダイキ	鹿児島県立加治木工業高等学校
13	右翼手	13	福 村 悠 人	フクムラ ハルト	鹿児島県立鹿屋農業高等学校

【少年男子】 チーム名 滋 賀 県

※UN＝ユニフォームナンバー

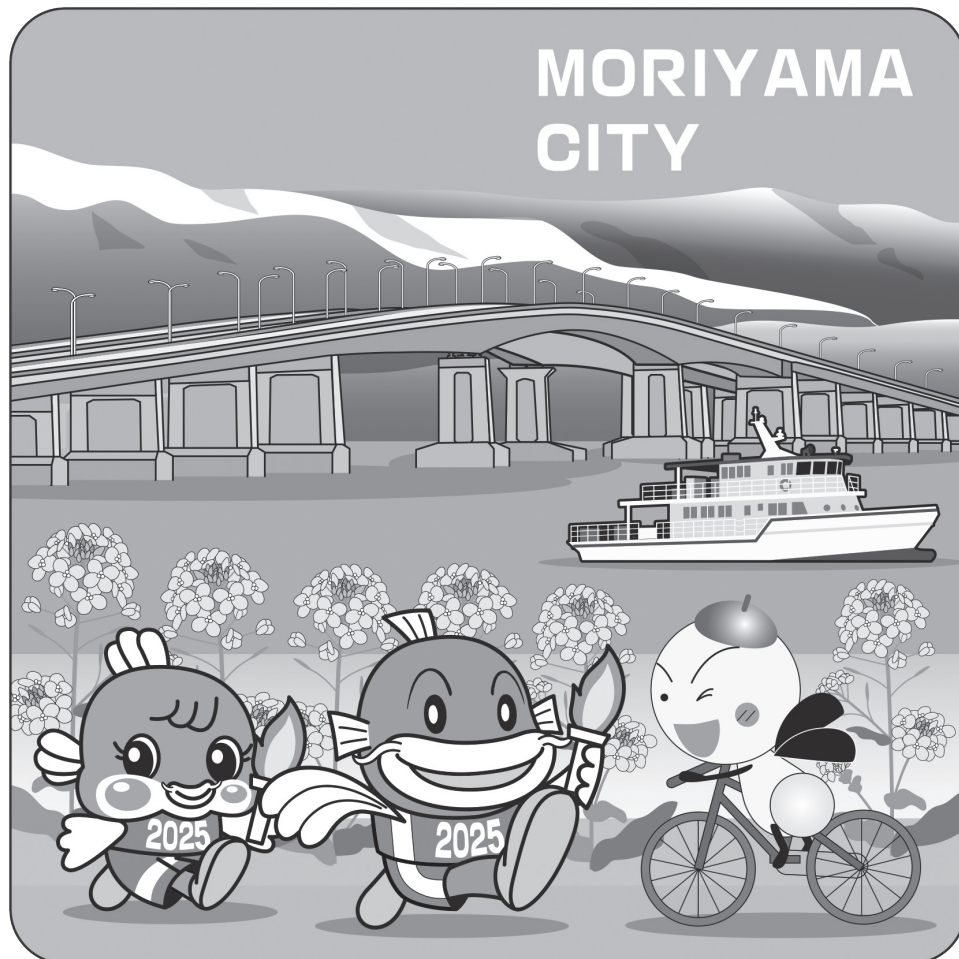
No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	松 村 圭	マツムラ ケ イ	滋賀県立栗東高等学校（教）
1	左翼手	14	秋 満 大 知	アキミツ タイチ	滋賀学園高等学校
2	右翼手	5	太 田 陽 人	オオタ ハルト	滋賀学園高等学校
3	一塁手	6	川 畑 鯉太郎	カワバタ コイタロウ	滋賀学園高等学校
4	遊撃手	11	中 西 朔太郎	ナカニシ サクタロウ	滋賀学園高等学校
5	二塁手	8	西 銀 次	ニ シ ギンジ	滋賀学園高等学校
6	二塁手	7	中 松 昇 汰	ナカマツ ショウタ	滋賀学園高等学校
7	遊撃手	15	東 田 秀 士	ヒガシダ シュウジ	滋賀学園高等学校
8	三塁手	2	藤 本 聖 人	フジモト キョト	滋賀学園高等学校
9	中堅手	12	森 田 悠 人	モリタ ハルト	滋賀学園高等学校
10	一塁手	16	松 宮 凜 空	マツミヤ リ ク	滋賀県立彦根工業高等学校
11	捕 手	10	小 林 健 介	コバヤシ ケンスケ	滋賀県立彦根工業高等学校
12	三塁手	13	池 田 伸	イケダ シ ン	滋賀県立栗東高等学校
13	投 手	1	久 村 南 斗	ヒサムラ ミナト	滋賀県立栗東高等学校



選手名簿

少年女子

守山市



【少年女子】 チーム名 北 海 道

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	永 木 絵美理	ナガキ エミリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校（教）
1	遊撃手	10	小 塚 沙 綾	コヅカ サアヤ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
2	投 手	1	佐 竹 紗 香	サタケ サヤカ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
3	捕 手	2	広 沢 日 花	ヒロサワ ニチカ	帯広大谷高等学校
4	投 手	4	手 塚 仁 菜	テヅカ ニイナ	帯広大谷高等学校
5	二塁手	7	久保木 愛 渚	クボキ アイナ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
6	中堅手	8	南 口 姫菜乃	ミナミグチ ヒナノ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
7	左翼手	15	丹 治 奈々美	タンジ ナナミ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
8	右翼手	9	畠 山 結 衣	ハタケヤマ ユ イ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
9	一塁手	18	角 谷 観 理	カドヤ ミノリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
10	捕 手	21	松 田 那 月	マツダ ナツキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
11	三塁手	5	中 田 彩 椰	ナカタ ア ヤ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
12	投 手	11	中 川 佑月妃	ナカガワ ユヅキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
13	遊撃手	6	遠 藤 愛 里	エンドウ アイリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

【少年女子】 チーム名 岩 手 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	千 葉 律 子	チ バ リツコ	岩手県立一関第二高等学校（教）
1	投 手	8	菊 地 美 聡	キクチ ミ サ	花巻東高等学校
2	捕 手	10	小野寺 彩 芽	オノデラ アヤメ	岩手県立花巻南高等学校
3	一塁手	7	赤 石 理 緒	アカイシ リ オ	花巻東高等学校
4	二塁手	4	高 橋 天 花	タカハシ テンカ	岩手県立花巻南高等学校
5	三塁手	12	富 手 陽 向	トミテ ヒナタ	岩手県立花巻南高等学校
6	遊撃手	2	千 葉 愛 実	チ バ マナミ	岩手県立花巻南高等学校
7	左翼手	13	山 本 倖 奈	ヤマモト ユキナ	岩手県立宮古商工高等学校
8	中堅手	6	畠 山 桃 嘉	ハタケヤマ モモカ	岩手県立高田高等学校
9	右翼手	11	朝 倉 奈 祐	アサクラ ナ ユ	岩手県立一関第二高等学校
10	中堅手	9	吉 田 絢 香	ヨシダ アヤカ	岩手県立花巻南高等学校
11	投 手	3	及 川 仁 鼓	オイカワ ニ コ	岩手県立花巻南高等学校
12	三塁手	5	細 川 里央奈	ホソカワ リオナ	岩手県立花巻南高等学校
13	右翼手	1	川 上 莉緒菜	カワカミ リオナ	岩手県立花巻南高等学校



【少年女子】 チーム名 群 馬 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	熊 井 道 也	クマイ ミチナリ	高崎健康福祉大学(職)
1	投 手	1	大 溝 夏 音	オオミヅ カノン	高崎健康福祉大学高崎高等学校
2	捕 手	6	後 閑 陽 向	ゴカン ヒナタ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
3	一塁手	16	田 中 綾 乃	タナカ アヤノ	前橋育英高等学校
4	二塁手	17	池 田 心 愛	イケダ コ ア	高崎健康福祉大学高崎高等学校
5	三塁手	11	島 田 莉 亜	シマダ リ ア	群馬県立高崎商業高等学校
6	遊撃手	10	相 須 絵 恋	アイス エレン	高崎健康福祉大学高崎高等学校
7	左翼手	15	西 山 祐 月	ニシヤマ ユヅキ	群馬県立高崎商業高等学校
8	中堅手	12	渡 辺 天 海	ワタナベ テンカ	太田市立太田高等学校
9	右翼手	13	星 野 佳乃子	ホシノ カノコ	群馬県立高崎商業高等学校
10	投 手	18	鈴 木 彩日音	スズキ アカネ	前橋育英高等学校
11	三塁手	14	大 内 里 香	オオウチ リ カ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
12	中堅手	19	吉 村 唯	ヨシムラ ユ イ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
13	投 手	20	鶴 見 紗 菜	ツルミ サ ナ	高崎健康福祉大学高崎高等学校

【少年女子】 チーム名 山 梨 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	渡 辺 努	ワタナベ ツトム	山梨学院高等学校 (教)
1	投 手	11	田 波 媛 子	タナミ ヒメコ	山梨学院高等学校
2	捕 手	2	森 田 結 菜	モリタ ユ ナ	山梨学院高等学校
3	遊撃手	10	二 橋 美 緒	ニハシ ミ オ	山梨学院高等学校
4	右翼手	8	武 石 萌 愛	タケイシ メ イ	山梨学院高等学校
5	左翼手	1	加々美 沙 良	カガミ サ ラ	山梨学院高等学校
6	二塁手	4	船 津 琴 音	フナツ コトネ	山梨学院高等学校
7	左翼手	7	関 百 花	セ キ モモカ	山梨学院高等学校
8	一塁手	9	小 堀 愛 実	コボリ ア ミ	山梨学院高等学校
9	投 手	13	栗 原 しおり	クリハラ シオリ	山梨学院高等学校
10	遊撃手	15	飯 田 莉 央	イイダ リ オ	山梨学院高等学校
11	三塁手	5	加 藤 瑠 唯	カトウ ル イ	山梨学院高等学校
12	中堅手	12	大 石 真 桜	オオイシ マ オ	山梨学院高等学校
13	捕 手	3	郷 古 あいみ	ゴウコ アイミ	山梨学院高等学校

【少年女子】 チーム名 福 井 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	水 田 博 貴	ミズタ ヒロキ	啓新高等学校 (教)
1	二塁手	10	松 田 優 那	マツダ ユウナ	啓新高等学校
2	投 手	18	小 池 七 笑	コイケ ナ エ	啓新高等学校
3	捕 手	14	玉 木 楓 夏	タマキ フウカ	福井商業高等学校
4	中堅手	19	井 手 梨里羽	イ デ リリハ	福井商業高等学校
5	左翼手	15	藤 永 優 愛	フジナガ ユ ア	啓新高等学校
6	右翼手	24	瀬 瀬 瑠 彩	コウケツ ル ア	啓新高等学校
7	投 手	1	睦 谷 羽 蘭	ムツタニ ウラン	啓新高等学校
8	遊撃手	7	丸 山 夏 葵	マルヤマ ナツキ	啓新高等学校
9	一塁手	12	木 村 空 愛	キムラ アクア	啓新高等学校
10	捕 手	3	八 十 美 咲	ヤ ソ ミサキ	啓新高等学校
11	中堅手	8	荒 川 芽 衣	アラカワ メ イ	啓新高等学校
12	投 手	22	田 賀 優希花	タ ガ ユノカ	三国高等学校
13	三塁手	16	濱 砂 杏 花	ハマスナ コハナ	啓新高等学校

【少年女子】 チーム名 岐 阜 県

※UN=ユニフォームナンバー

N o	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	上 松 美香子	ウエマツ ミカコ	多治見西高等学校 (教)
1	捕 手	10	市 川 幸 奈	イチカワ ユキナ	多治見西高等学校
2	投 手	3	馬 場 心 涼	バ バ コスズ	岐阜女子高等学校
3	投 手	17	広 瀬 理 央	ヒロセ リ オ	多治見西高等学校
4	捕 手	6	傍 島 志 帆	ソバジマ シ ホ	岐阜女子高等学校
5	一塁手	12	佐々木 杏 愛	ササキ アンナ	多治見西高等学校
6	三塁手	2	増 栄 凛	マスエ リ ン	多治見西高等学校
7	三塁手	4	佐 竹 聖良々	サタケ キララ	岐阜女子高等学校
8	遊撃手	7	齋 藤 春 花	サイトウ ハルカ	多治見西高等学校
9	遊撃手	19	傍 島 里 帆	ソバジマ リ ホ	岐阜女子高等学校
10	左翼手	5	楠 本 有 彩	クスモト ユ ア	多治見西高等学校
11	中堅手	8	吉 田 実 緒	ヨシダ ミ オ	岐阜女子高等学校
12	中堅手	11	佐 藤 涼 菜	サトウ スズナ	多治見西高等学校
13	右翼手	9	藤 田 有衣芽	フジタ ユイカ	岐阜女子高等学校



【少年女子】 チーム名 京 都 府

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	櫻 井 あず沙	サクライ アズサ	京都西山高等学校 (教)
1	遊撃手	10	吉 岡 涼 花	ヨシオカ リョウカ	京都西山高等学校
2	三塁手	1	浅 野 華 維	アサノ カスミ	京都西山高等学校
3	捕 手	2	藤 木 結 生	フジキ ユ イ	京都西山高等学校
4	投 手	3	藤 井 あかり	フジイ アカリ	福知山成美高等学校
5	二塁手	4	有 住 葉 那	アリズミ ハ ナ	京都府立西城陽高等学校
6	右翼手	5	上 田 朋 佳	ウエダ トモカ	京都明德高等学校
7	左翼手	8	東 祐 依	ヒガシ キ イ	京都西山高等学校
8	捕 手	9	石 原 菜 生	イシハラ ナ オ	京都西山高等学校
9	遊撃手	11	武 石 希 咲	タケイシ キ サ	京都西山高等学校
10	中堅手	12	森 山 実 咲	モリヤマ ミサキ	京都西山高等学校
11	一塁手	13	川 田 玲 愛	カワタ レ ア	京都西山高等学校
12	一塁手	15	濱 口 那 奈	ハマグチ ナ ナ	京都西山高等学校
13	投 手	16	宮 内 杏	ミヤウチ ア ン	京都西山高等学校

【少年女子】 チーム名 兵 庫 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	池 田 紀 子	イケダ ノリコ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校 (教)
1	二塁手	10	松 本 華 奈	マツモト ハ ナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
2	投 手	3	辻 井 みちる	ツジイ ミチル	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
3	遊撃手	5	山 中 陽 月	ヤマナカ ヒヅキ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
4	中堅手	9	高 谷 沖 菜	タカタニ オキナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
5	中堅手	12	櫻 木 藍 睦	サクラギ ラチカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
6	右翼手	13	松 浦 歩 花	マツウラ アユカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
7	捕 手	16	日 笠 柑 那	ヒカサ カンナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
8	中堅手	17	萩 原 美 桜	ハギハラ ミ オ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
9	投 手	11	菅 原 さくら	スガワラ サクラ	神戸野田高等学校
10	三塁手	7	長 尾 来 瞳	ナガオ クルミ	神戸野田高等学校
11	遊撃手	8	山 下 璃 莉	ヤマシタ リ リ	神戸野田高等学校
12	二塁手	4	神 崎 琴 心	カンザキ コトミ	神戸野田高等学校
13	左翼手	6	俵 田 晏	ヒョウダ ア ン	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

【少年女子】 チーム名 鳥 取 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	小 川 浩 司	オガワ コウジ	鳥取城北高等学校 (教)
1	遊撃手	10	大 迫 優 空	オオサコ ユ ラ	鳥取城北高等学校
2	二塁手	8	山 根 和 栞	ヤマネ ワカバ	鳥取城北高等学校
3	三塁手	16	信 藤 陽 菜	ノブトウ ハルナ	鳥取城北高等学校
4	左翼手	9	中 村 夢	ナカムラ ユ ウ	鳥取城北高等学校
5	投 手	1	蛭 田 桜 花	ヒルタ サクラ	鳥取城北高等学校
6	右翼手	15	三 浦 怜 奈	ミウラ レ ナ	鳥取城北高等学校
7	中堅手	5	佐名木 玲 菜	サナギ レ ナ	鳥取城北高等学校
8	投 手	11	東 平 果 歩	ヒガシヒラ カ ホ	鳥取城北高等学校
9	捕 手	2	神 林 里 沙	カミバヤシ リ サ	鳥取城北高等学校
10	右翼手	18	赤 穂 れ い	アコウ レ イ	鳥取城北高等学校
11	二塁手	6	蓬 郷 結 心	トマゴウ ユ ミ	鳥取城北高等学校
12	一塁手	3	樹 岡 菜 奈	キオカ ナ ナ	鳥取城北高等学校
13	一塁手	4	錦 織 美 咲	ニシコリ ミサキ	鳥取城北高等学校

【少年女子】 チーム名 香 川 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	石 川 剛	イシカワ ツヨシ	県立高松南高等学校 (教)
1	二塁手	24	熊 野 莉 奈	クマノ リ ナ	県立高松商業高等学校
2	遊撃手	10	寒 川 柚 奈	サンガワ ユズナ	県立高松商業高等学校
3	三塁手	3	谷 川 琳	タニカワ リ ン	県立高松商業高等学校
4	捕 手	20	岡 本 彩 音	オカモト アヤネ	県立高松商業高等学校
5	投 手	18	豊 島 和	トシマ ナゴミ	県立高松商業高等学校
6	一塁手	16	砂 川 文 音	スナガワ アヤネ	県立高松商業高等学校
7	左翼手	7	中 村 心 海	ナカムラ ココミ	県立高松商業高等学校
8	投 手	11	山 下 舞 華	ヤマシタ マイカ	県立高松商業高等学校
9	投 手	15	亀 井 雪 乃	カメイ ユキノ	県立高松南高等学校
10	遊撃手	6	山 野 碧 心	ヤマノ アオイ	県立高松南高等学校
11	捕 手	21	宮 本 こはる	ミヤモト コハル	県立高松南高等学校
12	中堅手	9	堀 口 来 愛	ホリグチ クレア	県立高松南高等学校
13	右翼手	5	尾 中 美 咲	オナカ ミサキ	県立高松南高等学校



【少年女子】 チーム名 長 崎 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	森 日香里	モ リ ヒカリ	向陽高等学校 (教)
1	投 手	1	川 本 そ ら	カワモト ソ ラ	向陽高等学校
2	捕 手	14	湯 浅 恵莉菜	ユアサ エリナ	向陽高等学校
3	投 手	7	柏 木 仁 美	カシワギ ヒトミ	向陽高等学校
4	二塁手	4	山 口 結 叶	ヤマグチ ユ カ	向陽高等学校
5	遊撃手	5	山 辺 夏 己	ヤマベ ナツミ	向陽高等学校
6	中堅手	10	篠 崎 柚 陽	シノザキ ユヅヒ	向陽高等学校
7	一塁手	3	泊 みひろ	トマリ ミヒロ	向陽高等学校
8	投 手	8	北 浦 柑 奈	キタウラ カンナ	長崎市立長崎商業高等学校
9	捕 手	12	神 崎 月 望	カンザキ ツキノ	長崎市立長崎商業高等学校
10	三塁手	6	小 森 心 深	コモリ ココミ	長崎市立長崎商業高等学校
11	左翼手	2	山 領 紫 苑	ヤマリョウ シオン	長崎市立長崎商業高等学校
12	右翼手	13	中 村 ひかり	ナカムラ ヒカリ	長崎市立長崎商業高等学校
13	投 手	11	隈 部 莉 子	クマベ リ コ	長崎市立長崎商業高等学校

【少年女子】 チーム名 鹿 児 島 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	有 住 隆	アリズミ タカシ	鹿児島女子高等学校 (教)
1	投 手	1	藤 田 莉 心	フジタ リ コ	神村学園高等部
2	捕 手	2	梶 目 莉 空	カジメ リソラ	神村学園高等部
3	一塁手	3	伊 東 蘭	イトウ ラ ン	神村学園高等部
4	二塁手	4	福 良 祢 音	フクラ ネ ネ	神村学園高等部
5	三塁手	5	西 梨央奈	ニ シ リオナ	鹿児島女子高等学校
6	遊撃手	6	下 池 美 姫	シモイケ ミ キ	神村学園高等部
7	左翼手	7	若 松 青 海	ワカマツ ア ミ	神村学園高等部
8	中堅手	8	窪 田 ひなた	クボタ ヒナタ	神村学園高等部
9	右翼手	9	藤 原 伊莉愛	フジワラ イリア	神村学園高等部
10	投 手	10	星 隈 妃 奈	ホシクマ ヒ ナ	鹿児島女子高等学校
11	捕 手	12	福 元 志 歩	フクモト シ ホ	神村学園高等部
12	投 手	18	岡 田 莉 来	オカダ リ コ	神村学園高等部
13	二塁手	14	川 原 希 菜	カワハラ ノ ナ	神村学園高等部

【少年女子】 チーム名 滋 賀 県

※UN=ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏 名	フリガナ	所 属
	監 督	30	栗 田 優 子	クリタ ユウコ	滋賀県立大津商業高等学校（教）
1	投 手	1	細 野 月 菜	ホソノ ル ナ	比叡山高等学校
2	右翼手	2	上 田 莉 子	ウエダ リ コ	比叡山高等学校
3	一塁手	4	山 本 瑠 希	ヤマモト ル キ	滋賀学園高等学校
4	遊撃手	5	藪 内 心 都	ヤブウチ コ ト	比叡山高等学校
5	捕 手	6	岡 本 藍	オカモト アオイ	比叡山高等学校
6	投 手	7	澤 田 芽	サワダ メ イ	滋賀県立大津商業高等学校
7	中堅手	9	瀧 上 碧 唯	タキガミ アオイ	比叡山高等学校
8	二塁手	10	平 井 美 緑	ヒライ ミノリ	滋賀県立大津商業高等学校
9	右翼手	12	高 野 結 菜	タカノ ユ ナ	滋賀学園高等学校
10	左翼手	16	土 肥 瑞 季	ド ヒ ミズキ	滋賀県立大津商業高等学校
11	捕 手	17	尾 辻 美 涼	オツジ ミスズ	滋賀県立水口高等学校
12	左翼手	19	山 中 星 衣	ヤマナカ セ イ	滋賀県立大津商業高等学校
13	三塁手	20	松 崎 心 月	マツザキ ミツキ	滋賀県立大津商業高等学校



競技成績採点方法

総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも1位64点、2位56点、3位(2チーム)各44点、5位(4チーム)各20点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
		順位	競技 得点	順位	競技 得点	順位	競技 得点	順位	競技 得点	競技 得点	参加 得点	合計	総合 順位	競技 得点	参加 得点	合計	総合 順位
1	北海道																
2	青森県																
3	岩手県																
4	宮城県																
5	秋田県																
6	山形県																
7	福島県																
8	茨城県																
9	栃木県																
10	群馬県																
11	埼玉県																
12	千葉県																
13	東京都																
14	神奈川県																
15	山梨県																
16	新潟県																
17	長野県																
18	富山県																
19	石川県																
20	福井県																
21	静岡県																
22	愛知県																
23	三重県																
24	岐阜県																
25	滋賀県																
26	京都府																
27	大阪府																
28	兵庫県																
29	奈良県																
30	和歌山県																
31	鳥取県																
32	島根県																
33	岡山県																
34	広島県																
35	山口県																
36	香川県																
37	徳島県																
38	愛媛県																
39	高知県																
40	福岡県																
41	佐賀県																
42	長崎県																
43	熊本県																
44	大分県																
45	宮崎県																
46	鹿児島県																
47	沖縄県																



年次別成績一覧表(第1回～第29回)

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年女子
第1回	昭和21年	滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫	—	—	—
第2回	昭和22年	石川県	オープン参加	オープン参加	オープン参加
第3回	昭和23年	福岡県	—	—	—
第4回	昭和24年	東京都	—	高島屋大阪(大阪)	大田原女子(栃木)
第5回	昭和25年	愛知県	教員の部 名古屋市教員(愛知)	鐘紡西大寺(岡山)	明善高(香川)
第6回	昭和26年	広島県	—	鐘紡西大寺(岡山)	明善高(香川)
第7回	昭和27年	福島・宮城・山形	—	三菱神戸造船(兵庫)	安田女子高(広島)
第8回	昭和28年	香川・高知・愛媛・徳島	—	鐘紡高砂(兵庫)	須賀高(栃木)
第9回	昭和29年	北海道	—	東洋レーヨン(愛媛)	三島北高(静岡)
第10回	昭和30年	神奈川県	—	東洋レーヨン(愛媛)	八尾高(大阪)
第11回	昭和31年	兵庫県	—	東洋レーヨン(愛媛)	安田女子高(広島)
第12回	昭和32年	静岡県	広島市役所(広島)	鐘紡高砂(兵庫)	坂出高(香川)
第13回	昭和33年	富山県	吉田工業(富山)	倉紡安城(愛知)	安城学園高(愛知) 須賀高(栃木)
第14回	昭和34年	東京都	京都地方簡保(京都)	高島屋大阪(大阪)	三島北高(静岡)
第15回	昭和35年	熊本県	広島市役所(広島)	日紡垂井(岐阜)	静岡女子商(静岡)
第16回	昭和36年	秋田県	日新製鋼呉(広島)	倉紡安城(愛知)	今治明德(愛媛)
第17回	昭和37年	岡山県	広島市役所(広島)	日紡垂井(岐阜)	宇都宮女子商高(栃木)
第18回	昭和38年	山口県	宇部興産(山口)	日紡垂井(岐阜)	宇都宮女子商高(栃木)
第19回	昭和39年	新潟県	広島市役所(広島)	広洋タオル(愛媛)	神田女子学園高(東京)
第20回	昭和40年	岐阜県	日新製鋼呉(広島)	高島屋大阪(大阪)	宇都宮女子商高(栃木)
第21回	昭和41年	大分県	オール武生(福井)	高島屋大阪(大阪)	宇都宮女子商高(栃木)
第22回	昭和42年	埼玉県	全学習院大(東京)	日紡垂井(岐阜)	大分東高(大分)
第23回	昭和43年	福井県	土佐電鉄(高知)	高島屋大阪(大阪)	宇都宮女子商高(栃木)
第24回	昭和44年	長崎県	佐世保重工(長崎)	全日体大(東京)	大分東高(大分)
第25回	昭和45年	岩手県	全日体大(東京)	高島屋大阪(大阪)	笠田高(和歌山)
第26回	昭和46年	和歌山県	三菱重工名古屋(愛知)	大和紡福井(福井)	宇都宮女子商高(栃木)
第27回	昭和47年	鹿児島県	丸善石油松山(愛媛)	高島屋大阪(大阪)	丸亀商業高(香川) 笠田高(和歌山)
第28回	昭和48年	千葉県	レッドスパークス(千葉)	倉紡安城(愛知)	熊本女子(熊本)
第29回	昭和49年	茨城県	高崎教員(群馬)	大和紡福井(福井)	川口女子高(埼玉)

年次別成績一覧表(第30回～第53回)

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第30回	昭和50年	三重県	三重県・愛媛県	兵庫県・群馬県	高知県・三重県	京都府・兵庫県
第31回	昭和51年	佐賀県	広島県	佐賀県・福岡県	三重県	京都府
第32回	昭和52年	青森県	群馬県・広島県	群馬県・東京都	熊本県	福島県
第33回	昭和53年	長野県	群馬県	群馬県	群馬県	香川県
第34回	昭和54年	宮崎県	宮崎県・群馬県	宮崎県・兵庫県	新潟県・熊本県	大阪府・広島県
第35回	昭和55年	栃木県	宮崎県	栃木県	栃木県	栃木県
第36回	昭和56年	滋賀県	愛知県	東京都	熊本県	神奈川県
第37回	昭和57年	島根県	静岡県	群馬県	群馬県	千葉県
第38回	昭和58年	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	神奈川県
第39回	昭和59年	奈良県	高知県	滋賀県	高知県	千葉県
第40回	昭和60年	鳥取県	愛知県	愛知県	埼玉県	鳥取県
第41回	昭和61年	山梨県	山梨県	山梨県	山梨県	愛知県
第42回	昭和62年	沖縄県	沖縄県	群馬県	群馬県	兵庫県

回数	開催年	開催地	成年男子1部	成年男子2部	成年女子	少年男子	少年女子
第43回	昭和63年	京都府	高知県	静岡県	愛知県	沖縄県	兵庫県
第44回	平成元年	北海道	高知県	大阪府	北海道	北海道	北海道
第45回	平成2年	福岡県	高知県	高知県	群馬県	千葉県	埼玉県
第46回	平成3年	石川県	高知県	静岡県	群馬県	群馬県	埼玉県
第47回	平成4年	山形県	山梨県	東京都	愛知県	山形県	山形県
第48回	平成5年	香川県・徳島県	高知県	群馬県	香川県	香川県	京都府
第49回	平成6年	愛知県	愛知県	静岡県	石川県	鹿児島県	埼玉県
第50回	平成7年	福島県	高知県	福島県	福島県	埼玉県	埼玉県
第51回	平成8年	広島県	高知県	広島県	神奈川県	宮崎県	栃木県
第52回	平成9年	大阪府	高知県	高知県	群馬県	静岡県	大阪府
第53回	平成10年	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	石川県	神奈川県



年次別成績一覧表(第54回～第78回)

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第54回	平成11年	熊本県	高知県	大阪府	神奈川県	宮城県
第55回	平成12年	富山県	愛知県	神奈川県	高知県	福岡県
第56回	平成13年	宮城県	千葉県	群馬県	高知県	埼玉県
第57回	平成14年	高知県	埼玉県	群馬県	大阪府	埼玉県
第58回	平成15年	静岡県	埼玉県	群馬県	岡山県	埼玉県
第59回	平成16年	埼玉県	高知県	群馬県	高知県	千葉県
第60回	平成17年	岡山県	愛知県	群馬県	群馬県	福岡県
第61回	平成18年	兵庫県	愛知県	神奈川県	高知県	埼玉県
第62回	平成19年	秋田県	福岡県・栃木県 千葉県・石川県	神奈川県・群馬県 兵庫県・東京都	宮崎県・大阪府 鹿児島県・高知県	佐賀県・滋賀県 兵庫県・神奈川県
第63回	平成20年	大分県	北海道・山形県 千葉県・福井県 愛知県・大阪府 広島県・高知県	群馬県・神奈川県 愛知県・島根県 徳島県・福岡県 大分県・沖縄県	北海道・福島県 千葉県・静岡県 兵庫県・高知県 長崎県・沖縄県	栃木県・神奈川県 愛知県・京都府 兵庫県・徳島県 佐賀県・大分県
第64回	平成21年	新潟県	大阪府	群馬県	高知県	埼玉県
第65回	平成22年	千葉県	北海道・福島県 千葉県・愛知県 大阪府・広島県 宮崎県・鹿児島県	栃木県・群馬県 石川県・兵庫県 島根県・愛媛県 福岡県・熊本県	群馬県・埼玉県 千葉県・新潟県 静岡県・大阪府 兵庫県・高知県	北海道・千葉県 神奈川県・愛知県 兵庫県・広島県 香川県・長崎県
第66回	平成23年	山口県	宮崎県	神奈川県	長崎県	大阪府
第67回	平成24年	岐阜県	群馬県	群馬県	長崎県	兵庫県
第68回	平成25年	東京都	高知県	群馬県	埼玉県	千葉県
第69回	平成26年	長崎県	宮崎県	神奈川県	鹿児島県	愛知県
第70回	平成27年	和歌山県	愛知県	神奈川県	愛媛県	岡山県
第71回	平成28年	岩手県	栃木県	愛知県	広島県	千葉県
第72回	平成29年	愛媛県	愛媛県・栃木県	愛媛県	広島県	長崎県・千葉県
第73回	平成30年	福井県	千葉県・岡山県	静岡県・群馬県	福井県・千葉県	愛知県・兵庫県
第74回	令和元年	茨城県	長崎県	群馬県	高知県	長崎県
第75回	令和2年	鹿児島県	延期			
第76回	令和3年	三重県	中止			
第77回	令和4年	栃木県	岡山県	群馬県	神奈川県	佐賀県
特 別	令和5年	鹿児島県	栃木県・福岡県	愛知県・埼玉県	愛媛県・広島県	千葉県・長崎県
第78回	令和6年	佐賀県	長崎県	群馬県	鹿児島県	鹿児島県
第79回	令和7年	滋賀県				

得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)
[勝：○、負：●]

先攻
後攻

(長打) 先攻
後攻

(本塁打)
(二塁打)
(本塁打)
(二塁打)

(三塁打)
(三塁打)

(特出記録)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)
[勝：○、負：●]

先攻
後攻

(長打) 先攻
後攻

(本塁打)
(二塁打)
(本塁打)
(二塁打)

(三塁打)
(三塁打)

(特出記録)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)
[勝：○、負：●]

先攻
後攻

(長打) 先攻
後攻

(本塁打)
(二塁打)
(本塁打)
(二塁打)

(三塁打)
(三塁打)

(特出記録)



得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)

[勝：○、負：●]

先攻
後攻

(長打) 先攻 (本塁打) (三塁打)
後攻 (二塁打) (三塁打)
(本塁打) (三塁打)
(二塁打)

(特出記録)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)

[勝：○、負：●]

先攻
後攻

(長打) 先攻 (本塁打) (三塁打)
後攻 (二塁打) (三塁打)
(本塁打) (三塁打)
(二塁打)

(特出記録)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

(バッテリー)

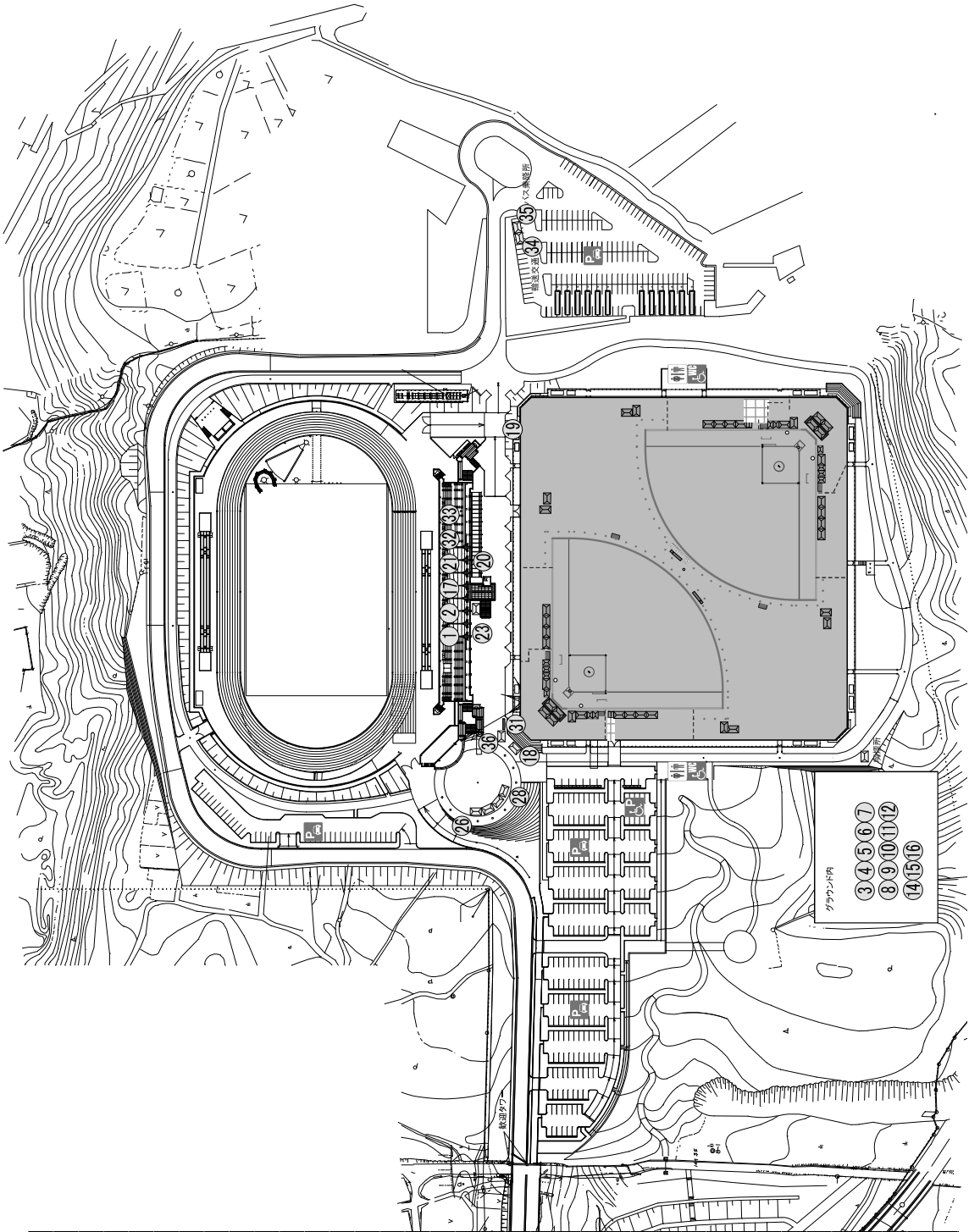
[勝：○、負：●]

先攻
後攻

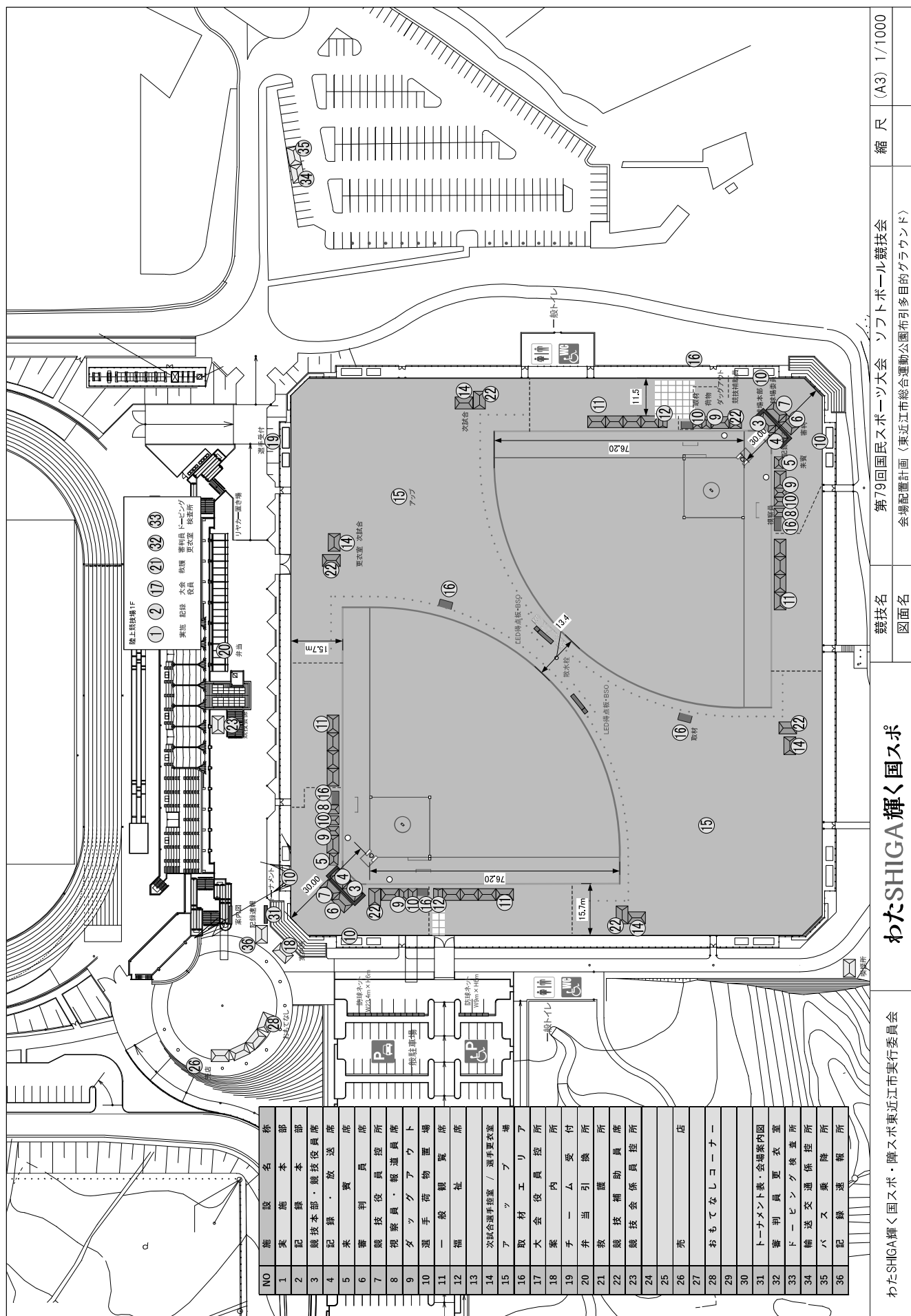
(長打) 先攻 (本塁打) (三塁打)
後攻 (二塁打) (三塁打)
(本塁打) (三塁打)
(二塁打)

(特出記録)

NO	施設名	名称
1	実施本部	
2	記録本部	
3	競技本部・競技役員席	
4	記録・放送席	
5	来賓	
6	審判員席	
7	競技役員控所	
8	視察員・報道員席	
9	ダッグアウト	
10	選手荷物置場	
11	一般観覧席	
12	福祉	
13		
14	次試合選手控室 / 選手更衣室	
15	アツプ場	
16	取材エリア	
17	大会役員控所	
18	案内所	
19	チーム受付	
20	弁当引換所	
21	救護所	
22	競技補助員席	
23	競技係員控所	
24		
25		
26	売店	
27		
28	おもてなしコーナー	
29		
30		
31	トーナメント表・会場案内図	
32	審判員更衣室	
33	ドレーピング検査所	
34	輸送交通係控所	
35	バス乗降所	
36	記録速報所	



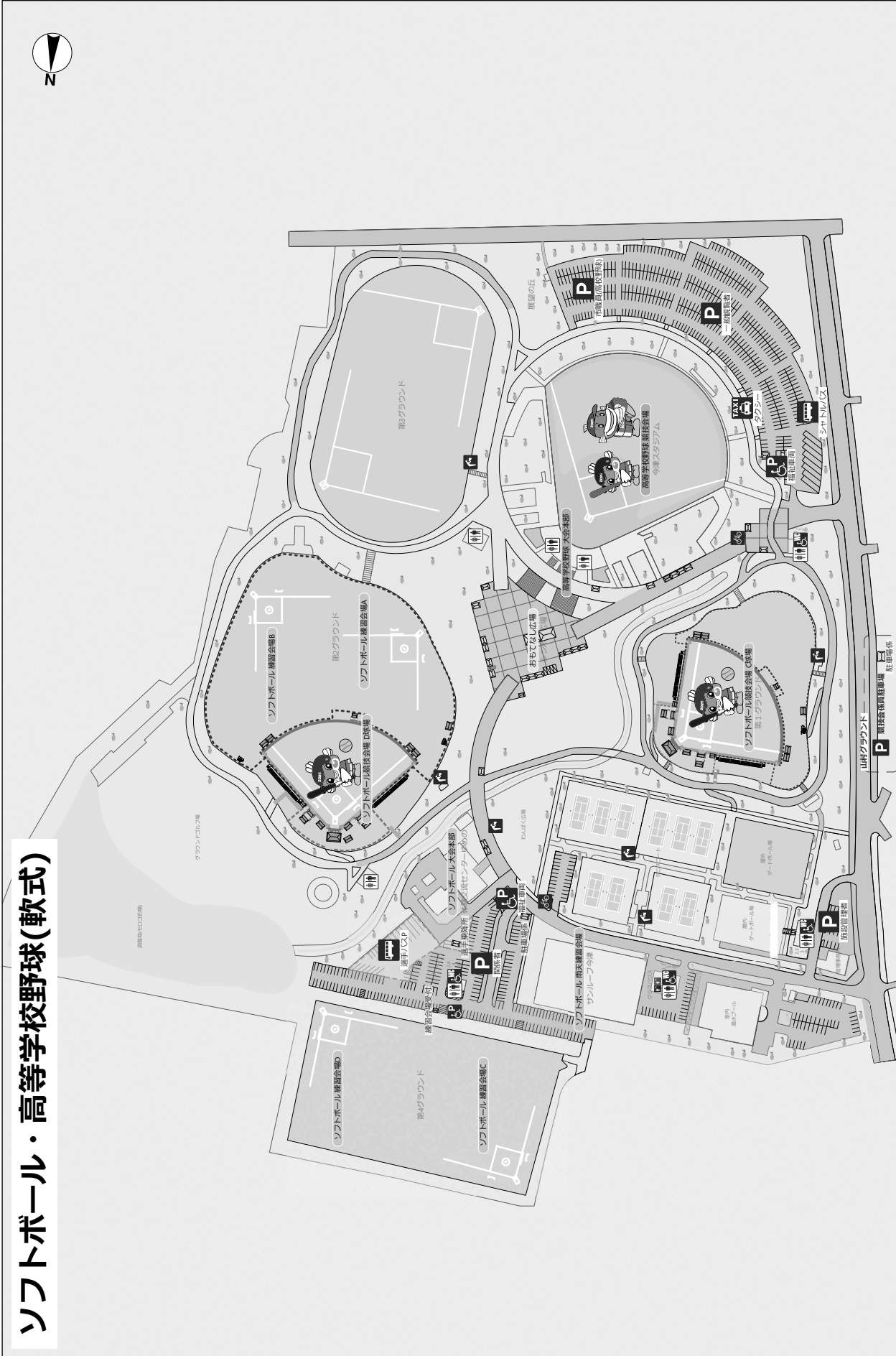
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会	わたSHIGA輝く国スポ		競技名 図面名	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会 会場配置計画（東近江市総合運動公園 周辺）	縮尺 (A3) 1/2000
---------------------------	--------------	--	------------	---	-------------------



わたSHIGA輝く国スポ

わたSHIGA輝く国スポ・贈スボ東近江市実行委員会

ソフトボール・高等学校野球(軟式)



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 高島市実行委員会	湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 2025	競技名	第79回国民スポーツ大会	縮尺	S=1/2500(A3)
		図面名	ソフトボール競技会・高等学校野球(軟式)競技会		



第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会、高等学校野球(軟式)競技会	縮尺	S=1/1000(A3)
会場設置計画 豊島区立総合運動公園 第2グラウンド、東洋フットボール場	修正日	2025/09/01

[illegible][illegible]

ゾーニング凡例

..... イレクターフェイス

□-ピンダ

仮設床設備	
-------	--

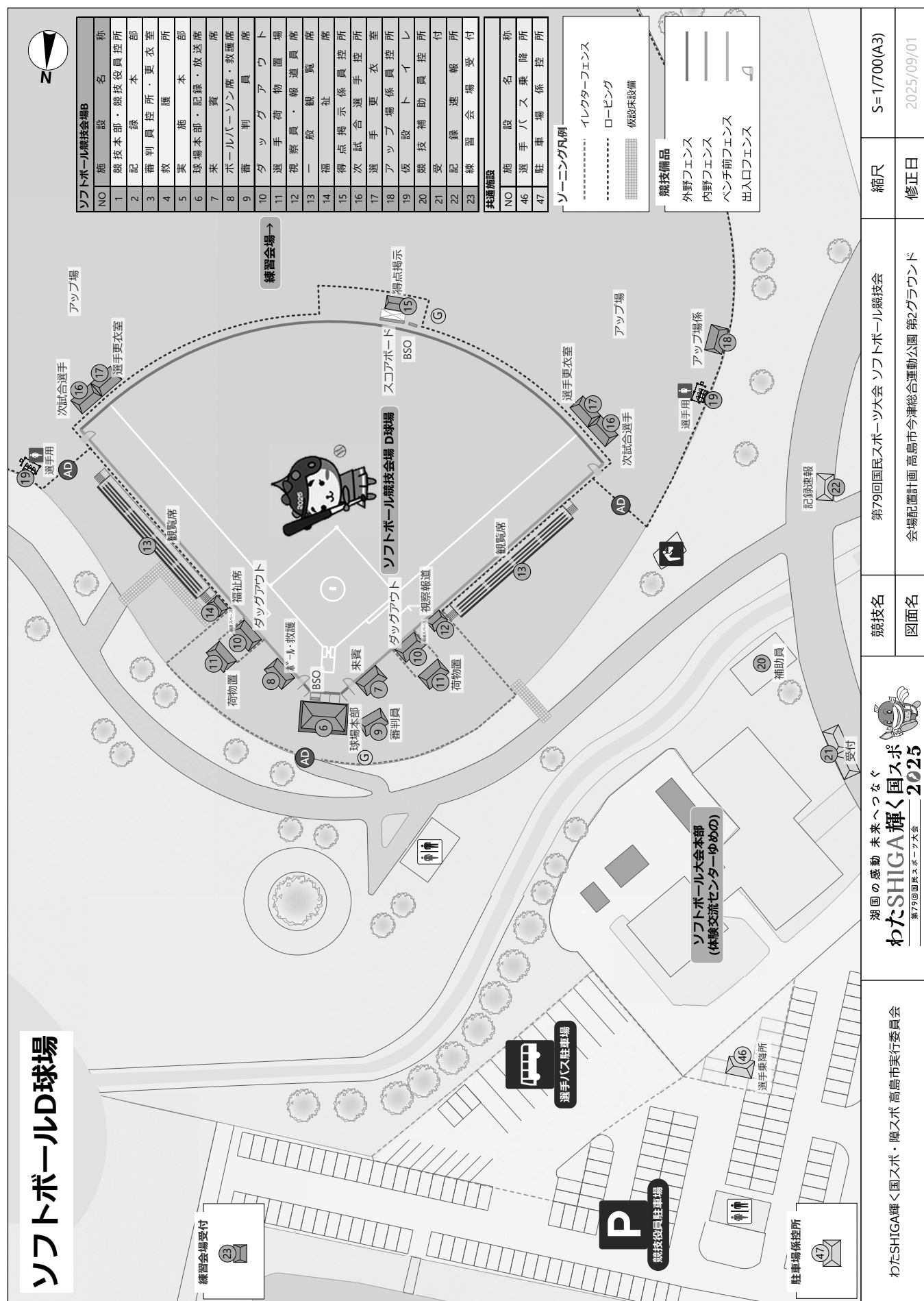
競技備品

外野フェンス

内野フェンス

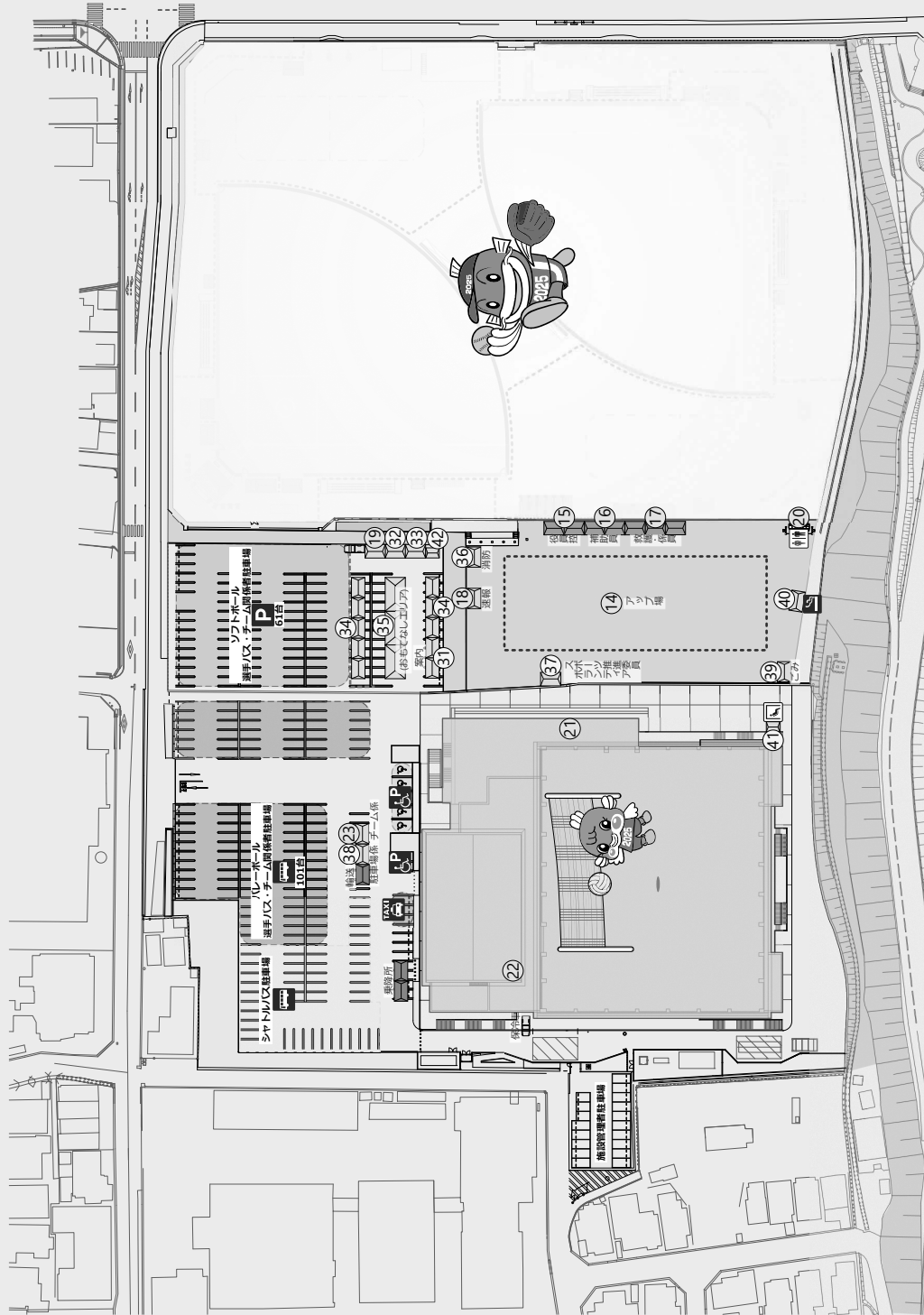
ベンチ前フェンス

出入口フェンス 4





バレーボール・ソフトボール



共通施設		
NO	施設名称	場所
31	受付案内	ナース
32	おふるまいコーナー	ナース
33	無料ドリンクコーナー	ナース
34	売店	ナース
35	休憩所	ナース
36	消防警備	ナース
37	スポーツ推進委員・ボランティア	ナース
38	駐車場係	ナース
39	ごみ集積	ナース
40	喫煙	ナース
41	カームダウンスペース	ナース
42	エコステーション	ナース

ソフトボール		
NO	施設名称	場所
14	アッブ	ナース
15	競技役員	ナース
16	競技補助員	ナース
17	救護席・競技係	ナース
18	記録速報	ナース
19	弁当引換	ナース
20	仮設トイレ	ナース
21	実施本部	ナース
22	救護係	ナース
23	チーム係	ナース

ゾーニング物品凡例

イレクターフェンス

ローピング

フル駐車場

ソフトボール

競技役員駐車場

ポランディア

競技役員駐車場

第79回国民スポーツ大会

バレーボール競技会・ソフトボール競技会

会場周辺図

YMITアリーナ周辺・野村公園グラウンド

競技名

バレーボール競技会・ソフトボール競技会

図面名

YMITアリーナ周辺・野村公園グラウンド



わたくしSHIGA輝く国スポ
第79回国民スポーツ大会

わたくしSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会

ソフトボール



ソフトボール		
NO	施設名	称
1	競技本部	部
2	記録本部	部
3	球場本部・記録・放送席	
4	来賓	席
5	ボールパーソン席	
6	審判員席	
7	ダッグアウト	場
8	選手荷物置場	
9	視察員・報道員席	
10	福祉	席
11	一般観覧席	
12	得点揭示係	所
13	次試合選手控え	所
14	アツプ	場
15	競技役員控え	所
16	競技補助員控え	所
17	救護席・競技係員控え	所
18	記録速報	所
19	弁当引換	所
20	仮設トイレ	
21	実施本部	所
22	救護	所
23	チーム係	所
24	ドリング	所

- ゾーニング物品凡例

 - イレクターフェンス
 - ローピング
- 競技備品凡例

 - 外野フェンス
 - 内野フェンス
 - ベンチ前フェンス
 - 出入口フェンス

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会	競技名	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会	縮尺	S=1/600(A3)
	図面名	会場配置図 野村公園グラウンド	修正日	2025/08/25

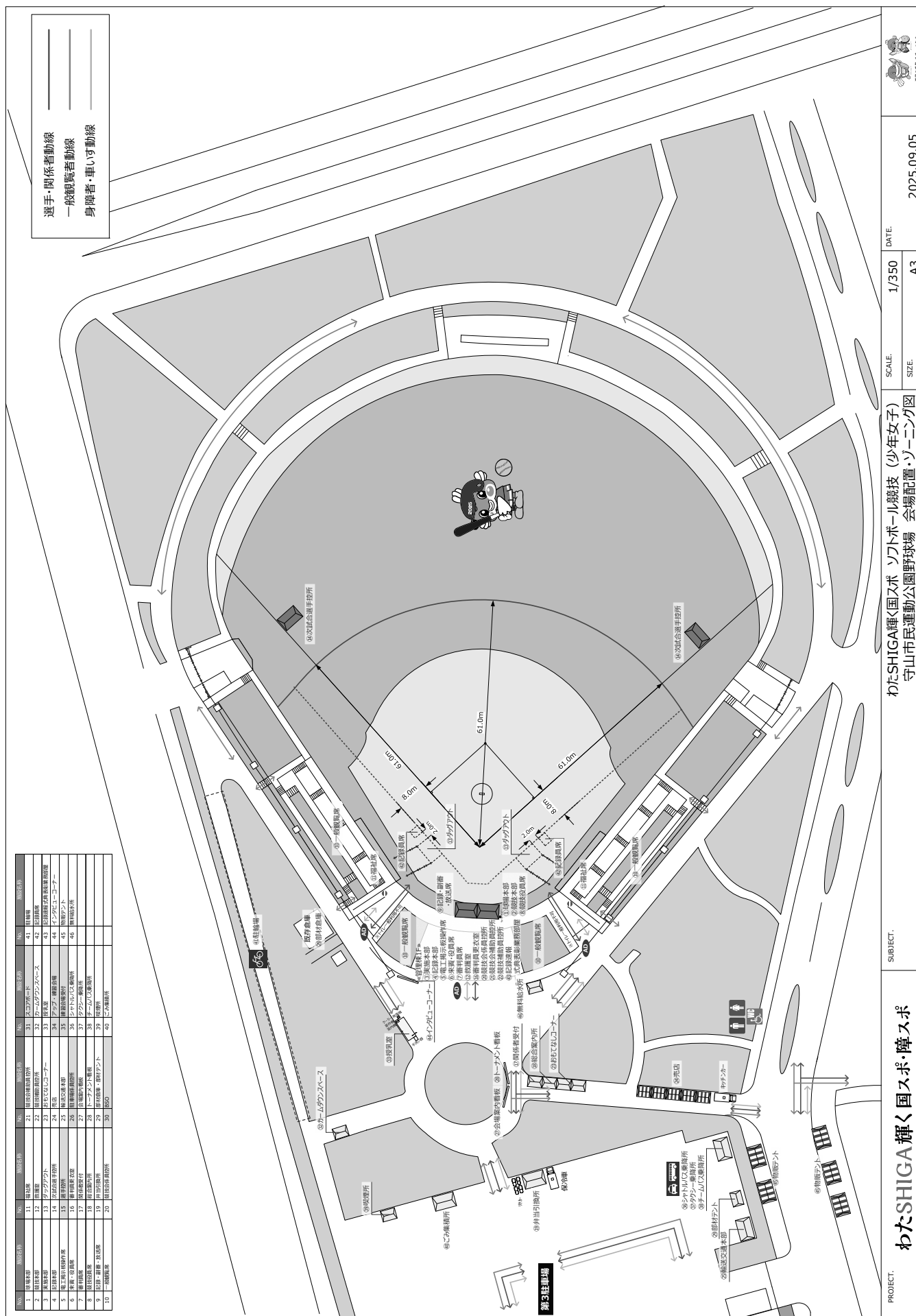
湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ
第79回国民スポーツ大会



2025



項目	実施年度	実施内容	No.	実施年度	No.	実施内容	No.	実施年度	No.
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
51	51	51	51	51	51	51	51	51	51
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
53	53	53	53	53	53	53	53	53	53
54	54	54	54	54	54	54	54	54	54





2025.09.05

DATE

1/500

SCALE

A3

SIZE

わたSHIGA輝く国スポ ソフトボール競技 (少年女子)
守山市民運動公園ソフトボール場 会場配置・ゾーニング図

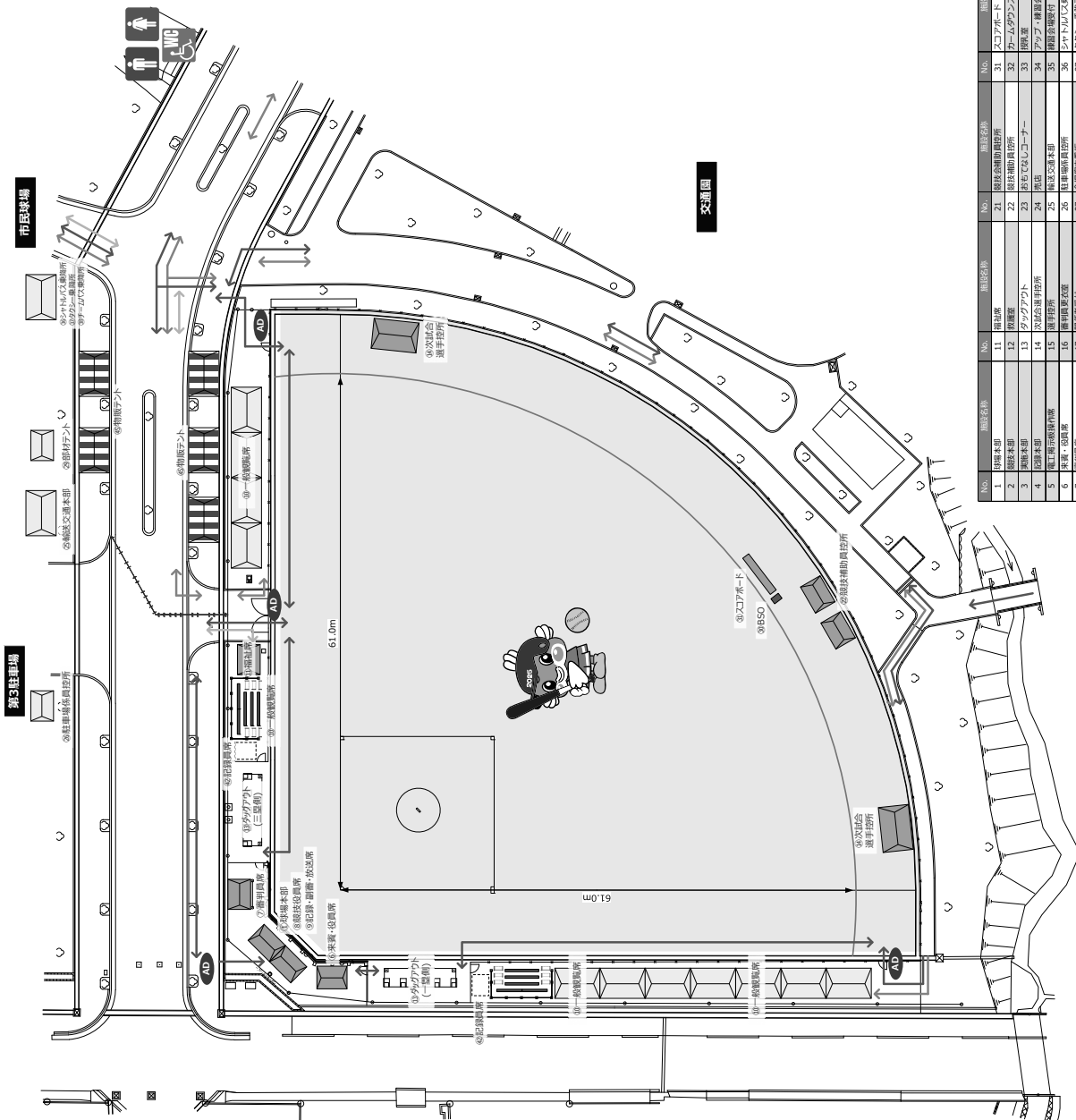
SUBJECT

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

PROJECT



選手・関係者動線
一般観覧者動線
身障者・車いす動線



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	球場本部	21	競技会補助施設	31	スコアボード	41	トイレ
2	観客本部	22	競技会補助施設	32	カーンダウンベース	42	記録員席
3	観客本部	23	スコアボード	33	スコアボード	43	インテリジェントコーナー
4	観客本部	24	スコアボード	34	スコアボード	44	スコアボード
5	観客本部	25	スコアボード	35	スコアボード	45	スコアボード
6	観客本部	26	スコアボード	36	スコアボード	46	スコアボード
7	観客本部	27	スコアボード	37	スコアボード	47	スコアボード
8	観客本部	28	スコアボード	38	スコアボード	48	スコアボード
9	観客本部	29	スコアボード	39	スコアボード	49	スコアボード
10	観客本部	30	スコアボード	40	スコアボード	50	スコアボード



競技会場： 東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（滋賀県東近江市芝原町1503）

練習会場： 長山公園（滋賀県東近江市上大森町370）

■雨天時 / 湖東体育館（滋賀県東近江市池庄町488）

蒲運動公園グラウンド第一グラウンド（滋賀県東近江市南町50）

■雨天時 / 蒲生体育館（滋賀県東近江市市子川原町679）



会場案内図（東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド）





競技会場：高島市今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド
(滋賀県高島市今津町日置前3110)

練習会場：高島市今津総合運動公園第2グラウンド・第4グラウンド
(滋賀県高島市今津町日置前3110)

■雨天時 / 高島市今津総合運動公園サンルーフ今津
(滋賀県高島市今津町日置前3110)



競技会場：草津市立野村運動公園グラウンド（滋賀県草津市野村三丁目2-5）※3日目は練習会場

練習会場：矢橋帰帆島公園多目的グラウンド（滋賀県草津市矢橋町字帰帆2109）

■雨天時 / 草津市立ふれあい体育館（滋賀県草津市草津町1486-1）

常盤小学校（滋賀県草津市志那中町119）松原中学校（滋賀県草津市下笠町111）





競技会場：守山市民球場・守山市民運動公園ソフトボール場（滋賀県守山市石田町335）

練習会場：守山市民運動公園市民スポーツ広場（滋賀県守山市三宅町94）

■雨天時 / 環境学習都市宣言記念公園（もりやまエコパーク）
（滋賀県守山市環境学習都市宣言記念公園1-1）

中洲小学校（滋賀県守山市幸津川町1406）速野小学校（滋賀県守山市木浜町112）

守山市民交流センター（さんさん守山）（滋賀県守山市守山二丁目16-45）

玉津小学校（滋賀県守山市赤野井町9-1）





関係機関電話番号一覧（成年男子）

■ 実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 東近江市実行委員会	滋賀県東近江市八日市緑町10番5号	0748-24-5675

■ 競技会場

名称	所在地	連絡先
東近江市総合運動公園 布引多目的グラウンド	滋賀県東近江市芝原町1503	0748-20-1230

■ 監督会議・審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
東近江市役所 東庁舎東D会議室 (監督会議)	滋賀県東近江市八日市緑町10番5号	0748-24-5675
東近江市役所 東庁舎東D会議室 (審判会議)		
東近江市役所 東庁舎東E会議室 (記録員会議)		

■ 警察・消防・保健所

	名称	所在地	連絡先
警察	東近江警察署	滋賀県東近江市八日市緑町26番18号	0748-24-0110
消防	東近江行政組合消防本部	滋賀県東近江市東今崎町5番33号	0748-22-7600
保健所	東近江健康福祉事務所 (東近江保健所)	滋賀県東近江市八日市緑町8番22号	0748-22-1253

■ 二次病院及び二次小児病院担当日割り

	名称	所在地	連絡先
27日	東近江総合医療センター	東近江市五智町255	0748-22-3030
28日	近江八幡医療センター	近江八幡市土田町1379	0748-33-3151
29日	湖東記念病院	東近江市平松町2-1	0749-45-5000
30日	東近江医療センター	東近江市五智町255	0748-22-3030
1日	近江八幡医療センター	近江八幡市土田町1379	0748-33-3151

■ タクシー

名称	所在地	連絡先
滋賀タクシー(株)八日市営業所	東近江市上之町120-2	0748-24-1201
永源寺タクシー(株)本社営業所	東近江市山上町3687	0748-27-1151
滋賀第一タクシー(株)近江八幡営業所	近江八幡市西生来町1558	0748-37-7913
近江タクシー(株)湖東営業所	近江八幡市上田町84-3	0748-37-4133

関係機関電話番号一覧（成年女子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567

■競技会場

名称	所在地	連絡先
高島市今津総合運動公園	滋賀県高島市今津町日置前3110	0740-22-5555

■監督会議・審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
【監督会議】高島市役所 新館3階 会議室10、11、12	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567
【審判・記録員会議】高島市役所 新館3階 会議室9、10	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567

■警察・消防・保健所

名称	所在地	連絡先
警察 高島警察署	滋賀県高島市今津町中沼二丁目4番地	0740-22-0110
消防 高島市消防本部	滋賀県高島市今津町日置前5150番地	0740-22-1234
保健所 高島保健所	滋賀県高島市今津町今津448番地45	0740-22-2525

■休日在宅当番医等

名称		所在地	連絡先
29日	高島市民病院	滋賀県高島市勝野1667番地	0740-36-0220
30日			
1日			

■タクシー

名称	所在地	連絡先
大津第一交通株式会社高島営業所	滋賀県高島市新旭町北畑807番地2	0740-32-4000



関係機関電話番号一覧（少年男子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会	滋賀県草津市草津三丁目 1 3 番 3 0 号	077-561-6896

■競技会場

名称	所在地	連絡先
草津市立野村運動公園グラウンド	滋賀県草津市野村三丁目 2 番 5 号	077-563-1265

■監督会議・審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
【監督会議】 草津市役所 8 階大会議室	滋賀県草津市草津三丁目 1 3 番 3 0 号	077-561-6896
【審判・記録員会議】 草津市役所 8 階大会議室		
【審判会議】 草津市役所 8 階大会議室		
【記録員会議】 草津市役所 2 階特大会議室		

■警察・消防・保健所

	名称	所在地	連絡先
警察	草津警察署	滋賀県草津市野村三丁目 1 番 1 1 号	077-563-0110
消防	西消防署	滋賀県草津市上笠町 4 7 7 番地 1	077-568-0119
保健所	草津保健所	滋賀県草津市草津三丁目 1 4 番 7 5 号	077-562-3526

■休日在宅当番医等

	名称	所在地	連絡先
27日	淡海医療センター	滋賀県草津市矢橋町 1 6 6 0 番地	077-563-8866
28日	淡海医療センター	滋賀県草津市矢橋町 1 6 6 0 番地	077-563-8866

■タクシー

名称	所在地	連絡先
桜タクシー(株)	滋賀県草津市矢橋町 2 1 番地 5	077-569-2655
(株)帝産タクシー滋賀	滋賀県草津市山寺町 1 9 2 番地 1	077-562-3022
滋賀ヤサカ自動車(株)草津営業所	滋賀県草津市南笠東一丁目 1 番 5 5 号	077-522-6767
近江タクシー(株)守山営業所	滋賀県守山市古高町 2 3 0 番地	077-582-5200
滋賀エムケイ(株)栗東営業所	滋賀県栗東市高野 1 9 5 番地 1 号	077-526-4141
滋賀第一交通(株)栗東営業所	滋賀県栗東市大橋七丁目 7 番 8 号	0120-553-043
滋賀タクシー(株)草津営業所	滋賀県栗東市小柿八丁目 7 番 5 号	077-553-1211

関係機関電話番号一覧（少年女子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会事務局	滋賀県守山市吉身二丁目5番22号	077-582-1169

■競技会場

名称	所在地	連絡先
守山市民球場	滋賀県守山市石田町335番地	077-583-5354
守山市民運動公園ソフトボール場	滋賀県守山市石田町335番地	077-583-5354

■監督会議・審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
<監督会議> 守山市民ホール 学習室 1	滋賀県守山市三宅町125番地	077-582-1169
<審判・記録員議> 守山市民ホール 会議室・学習室3	滋賀県守山市三宅町125番地	077-582-1169

■警察・消防・保健所

	名称	所在地	連絡先
警察	滋賀県守山警察署	滋賀県守山市金森町494番地	077-583-0110
消防	湖南広域消防局 北消防署	滋賀県守山市石田町377-1	077-584-2119
保健所	草津保健所（南部健康福祉事務所）	滋賀県草津市草津3-14-75	077-562-3526

■タクシー

名称	所在地	連絡先
近江タクシー株式会社 守山営業所	滋賀県守山市古高町230	077-582-0106
守山タクシー株式会社	滋賀県守山市守山3-3-44	077-582-2590



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬



MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。





『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント
(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

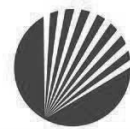
スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」

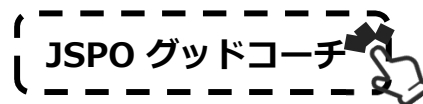


『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO
Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

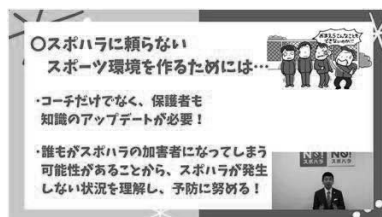


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で開催）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>





アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



MEMO

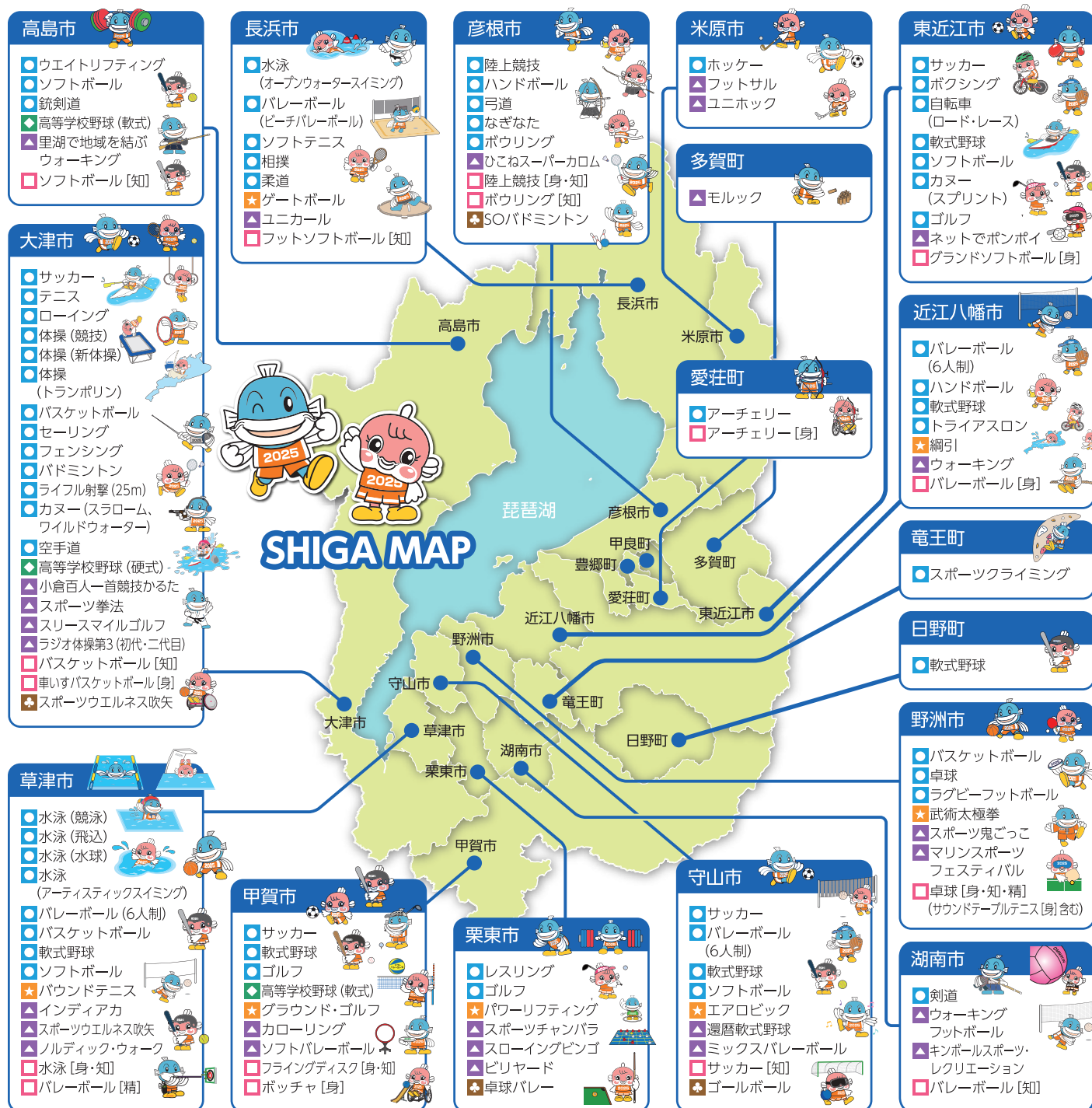


MEMO



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- 正式競技(37競技)
- 特別競技(1競技)
- 公開競技(7競技)
- デモンストラレーションスポーツ(26競技)

全国障害者スポーツ大会

- 正式競技(14競技)
- オープン競技(4競技)

[身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。

※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府
向日市
自転車
(トラック・レース)

大阪府
豊能郡能勢町
ライフル射撃
(50m、10m、BR・BP)

兵庫県
三木市
馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)
障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから!

滋賀2025

検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR
動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。



Instagram



X



大会HP





湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会



競技結果速報ページ

開設期間：令和7年9月1日～12月26日

▶ PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



▶ フィーチャーフォン

<http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



国スポの観覧・観戦に関するお問合せ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

事務局コールセンター **0120-550-882** 10/31まで毎日（9：00～18：00）

国スポチャンネル



37の正式競技の
決勝戦を中心に
「国スポチャンネル」で配信！



滋賀県
<https://shiga-sports2025.jp/>



14の正式競技の全試合を
「障スポチャンネル
(YouTube)」で配信！



高島市
https://www.city.takashima.lg.jp/kanko_bunka_sports/sport/1/index.html

